

1.3.78		heart opens at the tongue	心開竅于舌	心臓は舌に通じており、舌には心臓の生理的状態および病的状態が現れる。
1.3.79		lung opens at the nose	肺開竅于鼻	肺は鼻に通じており、鼻には肺の生理的状態および病的状態が現れる。
1.3.80		spleen opens at the mouth	脾開竅于口	脾臓は口に通じており、口には脾臓の生理的状態および病的状態が現れる。
1.3.81		liver opens at the eyes	肝開竅于目	肝臓は眼に通じており、眼には肝臓の生理的状態および病的状態が現れる。
1.3.82		kidney opens at the ears	腎開竅于耳	腎臓は耳に通じており、耳には腎臓の生理的状態および病的状態が現れる。
1.3.83		homogeny of liver and kidney	肝腎同源	肝臓と腎臓は密接な関係にあり、相互に滋養および支援しあう。肝臓に貯蔵された血と腎臓に貯蔵された精の起源は同じであり、また双方の相火は同じ源に由来する。
1.4.0		Meridian and Collateral	経絡	
1.4.1		meridian and collateral	経絡	気と血が流れる道筋。臓腑、四肢、外部器官および組織を結び、身体を有機的統一体とならしめる。channels and networksと同義。略してmeridiansまたはchannelsと称する。
1.4.2		meridian and collateral theory	経絡学説	経絡に関する理論。channels and networks theoryと同義。
1.4.3		meridian vessel	経脈	気と血の主要な経路で、垂直に走る。十二正経と奇経八脈で構成される。channel vesselと同義。
1.4.4		three yin meridians of the	手三陰経	上肢前面の胸から手へと走る経絡(肺経、心経、心包経)。
1.4.5		three yang meridians of the hand	手三陽経	上肢後面の手から頭へと走る経絡(大腸経、小腸経、三焦経)。
1.4.6		three yang meridians of the foot	足三陽経	頭から背部を通り足へと走る経絡(胃経、膀胱経、胆経)。
1.4.7		three yin meridians of the	足三陰経	下肢内側の足から腹部および胸部へ走る経絡(脾経、腎経、肝経)。
1.4.8	十四經; 十四經脈	fourteen meridians	十四經	十二正経と督脈および任脈の総称。
1.4.8	十四經; 十四經脈	fourteen meridians	十四經脈	十二正経と督脈および任脈の総称。
1.4.9	十二經; 十二正経; 十二經脈	twelve meridians	十二經	手足それぞれの三陰経および三陽経の総称。twelve regular meridiansと同義。
1.4.9	十二經; 十二正経; 十二經脈	twelve meridians	十二正経	手足それぞれの三陰経および三陽経の総称。twelve regular meridiansと同義。
1.4.9	十二經; 十二正経; 十二經脈	twelve meridians	十二經脈	手足それぞれの三陰経および三陽経の総称。twelve regular meridiansと同義。
1.4.10		lung meridian (LU)	手太陰肺経	十二正経の1つで、体内の中焦に起こり、下降して大腸につながる。肺および咽喉へと上昇し、横方向へ向き、中府(LU1)で体表に出る。その後、腕および前腕側面を下降し、少商(LU11)で終わる。
1.4.11		large intestine meridian (LI)	手陽明大腸経	十二正経の1つで、商陽(LI1)に起こり、手および前腕の背面を上昇し、腕の側面、肩の背面を循って巨骨(LI16)で体内に入り、後方の大椎(GV14)に向かう。その後、前方に向かい、鎖骨上窩より下降し、横隔膜を通過して大腸へつながる。鎖骨上窩で分かれた支脈は、頸部前側および下顎を上昇し、体内で下顎歯につながら、唇を循って巨骨側の迎香(LI19)で終わる。(終穴数: 20 / 片側)
1.4.12		stomach meridian (ST)	足陽明胃経	十二正経の1つで、鼻の外側縁内部に起こり、内眼角へと上昇し、体表の最初の経穴である、眼窩下縁に位置する承泣(ST1)を通過後、上歯肉へと下降し、口腔を循り、こめかみの生え際に位置する頭維(ST8)に到達する。頭維より体内に入り、神庭(GV24)で終わる。顔の支脈は大迎(ST5)で体内へと入って下降し、横隔膜を通過して胃および脾臓へつながる。鎖骨上窩支脈は鎖骨中線に沿って鼠径部の気衝(ST30)へと下降し、大腿の外側縁に沿って膝蓋骨へと前方に進み、第2趾先端部側面の厲兌(ST45)で終わる。胃の支脈は体内を下降し、へそを通過して気衝(ST30)で終わる。脛骨の支脈は足三里(ST36)を發し、腓骨に沿って下降し、第3趾側
1.4.13		spleen meridian (SP)	足太陰脾経	十二正経の1つで、第1趾内側の隠白(SPI)を發し、足および頸骨の内側と大腿部の前内側に沿って下腹部へと上昇する。腹部内に入り、脾臓および胃につながる。任脈の側方4寸の位置を上昇し、腋窩中線上の第6肋間隙に位置する体表の大包(SP21)で終わる。体内では鎖骨上窩を通過し、舌根で終わる。胃の支脈は胃を發して体内を上昇し、横隔膜を通過して心臓へつながる。
1.4.14		heart meridian (HT)	手少陰心経	十二正経の1つで、心臓に起こり、体内を下降し、横隔膜を通過して小腸へつながる。心臓の支脈は体内で食道側面の近くを上昇し、眼で終わる。主脈は心臓を發し、肺を横断し、腋窩中央の極泉(HT1)で体表に現れ、上腕内側の尺側に沿って下降し、小指先端部の橈骨側にある少衝(HT9)で終わる。(経

1.4.15	small intestine meridian (SI)	手太陽小腸經	十二正經の1つで、小指の尺側にある少沢 (SI1) に起こり、上腕尺側、腕、肩甲骨を通過して第7頸椎と第1胸椎の棘突起間に位置する大椎 (GV14) へと上昇する。その後、体内を心臓へと下降し、食道に沿って横隔膜を通過し、小腸につながる。鎖骨上窩の支脈は頸部側面に沿って体表を上昇し、頬および眼の側縁を通過して、睛宮 (SI10) で終わる。頬の支脈は頬から主脈へ合流し、内眼角へ通じる。
1.4.16	bladder meridian (BL)	足太陽膀胱經	十二正經の1つで、内眼角の睛明 (BL1) を発し、額から頭頂へと上昇後、脳に入り、うなじで体表に出て2本の平行に走る支脈へと分かれる。第1支脈は背部で背骨から1.5寸の位置を下降し、その途中で腎臓と膀胱につながり、大腿部後面に沿って膝窩へと続く。第2支脈は、背部で背骨から3寸の位置を下降し、大腿後側に沿って膝窩へと続き、ここで第1支脈と合流する。その後、ふくらはぎ後面に沿って下腿へ通じる。
1.4.17	kidney meridian (KI)	足少陰腎經	十二正經の1つで、第5趾裏先端部を發し、足底中心にある湧泉 (KI1) を通り、下肢の内側に沿って恥骨結合に達する。ここで体内に入り、腎臓および膀胱に向かい、再び恥骨結合に戻り、腹部、胸部に沿って、第1肋骨と鎖骨下縁間の陥凹にある命門 (KI27) まで通じる。
1.4.18	pericardium meridian (PC)	手厥陰心包經	十二正經の1つで、胸部の中心で起こり、心臓につながり、3焦を結びながら下腹部へと降下する。胸部の支脈は、乳頭近くの天地 (PC1) で体表に現れ、腕前側の正中線に沿って下降し、中指先端部の中点にある中衝 (PC9) に到達する。(經穴数: 9 / 片側)
1.4.19	triple energizer meridian (TE)	手少陽三焦經	十二正經の1つで、薬指の尺側にある関衝 (TE1) を發し、腕後側の正中線に沿って走り、肩、頸部、耳、眼を通り、外眼角の絲竹空 (TE23) で終わる。支脈は鎖骨上窩から心臓に向かい、胸部、腹部を通過して上焦、中焦、下焦を結ぶ。(經穴数: 23 / 片側)
1.4.20	gallbladder meridian (GB)	足少陽膽經	十二正經の1つで、外眼角の瞳子膠 (GB1) を發し、こめかみ、耳、頸部、肩、横腹、下肢の外側を走り、第4趾先端部外側の足竅陰 (GB44) で終わる。耳介後部から始まる支脈は、耳内部を通過して降下し、鎖骨上窩で主脈に合流する。主脈は胸部を降下し、横隔膜を通過して胆嚢、肝臓につながり、さらに下腹部から鼠径管へと続く。足背面の支流は足臨泣 (GB41) で主脈から分かれ、第1および第2趾の間に通じる。
1.4.21	liver meridian (LR)	足厥陰肝經	十二正經の1つで、第1趾の爪基部の直後にある大敦 (LR1) を發し、下肢の内側、外性器および腹部を通り、乳頭下約2寸に位置する期門 (LR14) に至る。期門 (LR14) より腹部に入り、胃を横断し、肝臓および胆嚢につながる。肝臓より上昇し、横隔膜を通過して気管、喉頭、副鼻腔に沿って走り、眼につながる。その後、頭頂へと上昇し、百会 (GV20) で督脈に合流する。(經穴数: 14 / 片側)
1.4.22	main meridian	正經	十二正經の別名。regular meridianとも呼ばれる。
1.4.23	extra meridian	奇經	奇經八脈の略称。
1.4.24	eight extra meridians	奇經八脈	督脈、任脈、衝脈、帶脈、陰蹻脈、陽蹻脈、陰維脈、陽維脈の総称。
1.4.25	governing vessel (GV)	督脈	奇經八脈の1つで、下腹部に起こり、肛門後部に位置する長強 (GV1) で体外に出る。支脈が会陰 (CV1) へと走る。主脈は背部の正中線に沿って上昇し、頭頂に到達し、その後、顔の正中線を通り、上唇と上唇小葉の上歯肉の間にある翳交 (GV28) へと下降す。
1.4.26	controlling vessel	任脈	奇經八脈の1つで、下腹部に起こり、会陰の中心にある会陰 (CV1) で体外に出る。腹壁および胸部の正中線を通過して上昇し、オトガイ唇溝の midpoint である承漿 (CV24) に至る。体内では承漿 (CV24) より上昇し、口の周りを回り、眼に到達する。もう1本の支脈は、体内で鼻蹻脈を發し、鼻峰を上昇して眼頂に至る。
1.4.27	thoroughfare vessel	衝脈	奇經八脈の1つで、下腹部に起こり、会陰で体表に出て腎經と合流し、腹部から胸部の両側に沿って上昇する。
1.4.28	belt vessel	帶脈	奇經八脈の1つで、下腹部に起こり、胴の周りを回る。
1.4.29	yin heel vessel	陰蹻脈	奇經八脈の1つで、かかとの内側に起こり、下肢内側に沿って上昇し、外性器より体内に入り、腹部、胸部、頸部、鼻の片側を通り、眼
1.4.30	yang heel vessel	陽蹻脈	奇經八脈の1つで、かかとの外側に起こり、足首および下肢の外側に沿って上昇し、腹部、胸部、肩、頬を通り、後頸部で終わる。
1.4.31	yin link vessel	陰維脈	奇經八脈の1つで、足首内側上部に起こり、下肢の内側に沿って上昇し、腹部、胸部、喉頭を通し、後頸部で終わる。
1.4.32	yang link vessel	陽維脈	奇經八脈の1つで、足首外側下部に起こり、下肢の外側に沿って上昇し、胴体、肩および頸部の片側を通り、頭頂で終わる。
1.4.33	twelve meridian divergences	十二經別	十二正經から分岐する支脈で、身体の深部を走る。
1.4.34	meridian divergence	經別	正經から分岐する支脈で、身体の深部を走る。
1.4.35	twelve meridian sinews	十二經筋	十二正經を起源とする筋系。
1.4.36	meridian sinew	經筋	特定の経絡を起源とする筋系。
1.4.37	twelve cutaneous regions	十二皮部	十二正經それぞれの機能状況を反映する皮膚の部位。
1.4.38	cutaneous region	皮部	特定の経絡の機能状況を反映する皮膚の部位。
1.4.39	collateral vessel	絡脈	経絡の支脈で、全身に分布し、経絡を結ぶ。
1.4.40	fifteen collateral vessels	十五絡脈	十四経脈に由来する主脈の総称。脾の大絡を加えて絡脈数は15本。

1.4.41		great collateral vessel of the spleen	脾之大絡		大包(SP21)より胸部および下肋部へ広がる。
1.4.42		tertiary collateral vessel	孫絡		絡脈の支脈で、grandchild collateral vesselとしても知られる。
1.4.43		superficial collateral vessel	浮絡		身体の表層を走る絡脈。
1.5.0		Body Constituents and Orifices of	形體和官竅; 身體構		
1.5.1		body constituent	形體		皮膚、脈管、筋肉、腱および骨の総称。
1.5.2		skin and (body) hair	皮毛		皮膚および体毛の総称。
1.5.3		interstices	腠理		皮膚、筋肉、および内臓の紋理、および皮膚と筋肉の間隙を埋める組織を指す。
1.5.4		mysterious mansion	玄府		汗孔の別名。あまりにも小さく、目に見えないことに由来する。
1.5.5		qi gate	氣門		汗孔の別名。
1.5.6		border between the red and white flesh	赤白肉際		掌部(赤色)と手の甲(白色)または足底部(赤色)と足裏(白色)間の皮膚の境界部。
1.5.7		sinew	筋		筋肉を骨に結合する、弾力性のある腱または索状組織。
1.5.8		ancestral sinew	宗筋		腱/男性の外性器の総称。
1.5.9		muscle	溪谷		2つの筋肉間のギャップ結合部または陥凹。
1.5.10		chest center	膻中		乳頭間にある胸部の中心。
1.5.11		stomach duct	胃脘		(1) 胃腔および食道との接続部、(2) 心窩部。
1.5.12		chest and hynochondrium membrane source	胸膈		頸部と腹部の間の、腹部外側の肋軟骨より上の部位。
1.5.13	募原: 膜原	membrane source	募原		(1) 胸膜と横隔膜の間の空間、(2) 伝染性熱性疾患の病原体が定着する、体内と体外の間の空間。
1.5.13	募原: 膜原	membrane source	膜原		(1) 胸膜と横隔膜の間の空間、(2) 伝染性熱性疾患の病原体が定着する、体内と体外の間の空間。
1.5.14		cardiodiaphragmatic interspace	膏肓		心臓の下、横隔膜の上の空間。
1.5.15		lower abdomen	小腹		腹部の、へそと恥骨上縁の間の部位。
1.5.15		lower abdomen	少腹		腹部の、へそと恥骨上縁の間の部位。
1.5.16		para-umbilical region	臍傍		腹部の、へその横の部位。
1.5.17		infra-umbilical region	臍下		腹部の、へその下の部位。
1.5.18		cinnabar field	丹田		気功において、精神が集中する身体の3つの部位を指す: 下丹田(へそと恥骨結合を結ぶ線の上部3分の2に位置する部位)、中丹田(劍状突起の部位)、上丹田(両眉の間)。
1.5.19	骸: 百骸	skeleton	骸		身体の支持構造または枠組み。
1.5.19	骸: 百骸	skeleton	百骸		身体の支持構造または枠組み。
1.5.20		eyebrow bone	眉稜骨		眼窩上隆起。
1.5.21		cervical vertebrae	頸骨		頸椎の総称。
1.5.22		vertebrae	脊		胸椎、腰椎、仙椎の総称。spineと同義。
1.5.23		lumbar vertebrae	腰骨		腰骨。
1.5.24		assisting bone	輔骨		膝側面にある骨の突起、すなわち大腿骨および脛骨の顆骨頭を指す。
1.5.25		high bone	高骨		体表面の骨突起、特に橈骨の茎状突起を指す。
1.5.26		prominent	腫		(1) 傍脊椎筋、(2) 腸骨稜下の筋肉。
1.5.27		house of bright essence	精明之府		頭を指す。
1.5.28		back of the head	腦戶		後頭部。
1.5.29	太陽: 太陽穴	temple	太陽		(1) 額の左右それぞれの側で、頬骨上部、外側眼角の側部、やや上側に位置する部位、(2) 側頭部に位置する奇穴。
1.5.29	太陽: 太陽穴	temple	太陽穴		(1) 額の左右それぞれの側で、頬骨上部、外側眼角の側部、やや上側に位置する部位、(2) 側頭部に位置する奇穴。
1.5.30		orifice of sense organ	官竅		感覚器官の開口部の総称。
1.5.31		five sense organs	五官		五行学説における、鼻、眼、口、下、舌の総称。
1.5.32		seven orifices	七竅		左右の耳、眼および鼻孔、ならびに口の総称。
1.5.33		upper orifices	上竅		眼、耳、口および鼻。
1.5.34		lower orifices	下竅		肛門および泌尿生殖器官。
1.5.35		sprout orifices	苗竅		気、血、陰および陽の変化を示す感覚器官。signaling orifices/sense organsとしても知られる。
1.5.36		five wheels	五輪		眼の5つの部位(外側から内側に向かって肉輪、血輪、氣輪、風輪、水輪)。
1.5.37		eight belts	八廓		眼の8つの外部部位の総称。
1.5.38		qi wheel	氣輪		眼球結膜および強膜。qi orbiculusと同義。
1.5.39		water wheel	水輪		瞳孔。water orbiculusと同義。
1.5.40		blood wheel	血輪		眼角。blood orbiculusと同義。
1.5.41		wind wheel	風輪		角膜。wind orbiculusと同義。

1.5.42		flesh wheel	肉輪	眼瞼。flesh orbiculusと同義。
1.5.43		inner canthus	大眦	鼻側の眼角。greater canthusと同義。
1.5.44	銳眦；小眦	outer canthus	銳眦	こめかみ側の眼角。lesser canthusと同義。
1.5.44	銳眦；小眦	outer canthus	小眦	こめかみ側の眼角。lesser canthusと同義。
1.5.45		lacrimal orifice	淚堂	涙が流れ出る開口部。
1.5.46		white of the eye	白睛	眼球外面の、白く不透明な部分。
1.5.47		dark of the eye	黑睛	前眼部の中央を形成する透明な膜構造(角膜)。
1.5.48		pupil	瞳神	虹彩の中央、角膜の後方に位置する開口部(瞳孔)。光は瞳孔を通して入射する。
1.5.49		aqueous humor	神水	眼内で生成される液体。水晶体と角膜の間の空間を満たす。
1.5.50		vitreous humor	神膏	眼球を満たす無色透明のゼリー状の物質。
1.5.51		eye connector	目系	眼と脳を結ぶ索状組織。
1.5.52	目眶；目眶骨	eye socket	目眶	眼球を収容する頭蓋骨のくぼみ。
1.5.52	目眶；目眶骨	eye socket	目眶骨	眼球を収容する頭蓋骨のくぼみ。
1.5.53		sinew mesh above the eyes	目上網	上眼瞼の筋組織。
1.5.54		sinew mesh below the eyes	目下網	下眼瞼の筋組織。
1.5.55		bright hall	明堂	鼻、特に先端部を指す古来の用語。
1.5.56		tip of the nose	鼻準	鼻の先端部(鼻尖)を指す。apex nasiと同義。
1.5.57		root of the nose	山根	眼の間に位置する鼻の上部(鼻根)。radix nasiと同義。
1.5.58	頰；鼻莖	bridge of the	頰	鼻外側面の接合部で形成される部分(鼻筋)。dorsum nasiと同義。
1.5.58	頰；鼻莖	bridge of the	鼻莖	鼻外側面の接合部で形成される部分(鼻筋)。dorsum nasiと同義。
1.5.59		wisdom tooth	眞牙	第3大臼歯。
1.5.60	蒂丁；小舌	uvula	蒂丁	軟口蓋の後縁中央に垂れ下がっている部分(口蓋垂)。通常uvula palatinaを指す。
1.5.60	蒂丁；小舌	uvula	小舌	軟口蓋の後縁中央に垂れ下がっている部分(口蓋垂)。通常uvula palatinaを指す。
1.5.61		throat node	喉核	口峡または口蓋扁桃。喉の左右に1つづつある隆起。
1.5.62		throat pass	喉關	扁桃腺、口蓋垂および舌後部で構成される喉の部位。
1.5.63		pharynx	喉嚨	嚥下された飲食物が通る喉の部位。
1.5.64		retropharynx	喉底	咽頭後部。
1.5.65		nasopharynx	頤類	咽頭の上部。鼻腔につながっている。
1.5.66		essence chamber	精室	精液が貯蔵される、男性の臓器。
1.5.67		essence orifice	精竅	精液が放出される、男性の尿道外口。
1.5.68		testicle	辜	精子が形成される、男性の生殖器官。
1.5.69		anterior yin	前陰	尿道外口を含む外性器。
1.5.70		posterior yin	後陰	肛門(大腸の後部開口)。
1.5.71		defense aspect	衛分	身体の最も浅い位置にある層で、急性熱性疾患の初期段階で侵される。多くの場合、肺を指す。
1.5.72		qi aspect	氣分	衛分に続く身体の2番目の層で、多くの場合、肺、胆嚢、脾臓、胃、大腸を指す。
1.5.73		nutrient aspect	營分	氣分と血分との間の層。
1.5.74		blood aspect	血分	身体の最も深い位置にある層で、急性熱性疾患の最重度の段階で影響を受ける。
1.6.0		Cause of	病因	
1.6.1		cause of disease	病因	病原因子。
1.6.2		theory of causes of disease	病因學說	病原因子の分類、病原因子の特性、病原性の特徴および発病過程を扱う。病因学と同義。
1.6.3	病邪；邪氣；邪	pathogen	病邪	疾患を引き起こす病原。pathogenic factorまたはpathogenic qiとも呼ばれる。
1.6.3	病邪；邪氣；邪	pathogen	邪氣	疾患を引き起こす病原。pathogenic factorまたはpathogenic qiとも呼ばれる。
1.6.3	病邪；邪氣；邪	pathogen	邪	疾患を引き起こす病原。pathogenic factorまたはpathogenic qiとも呼ばれる。
1.6.4	外邪；客邪	external	外邪	体外に由来する病邪。
1.6.4	外邪；客邪	external	客邪	体外に由来する病邪。
1.6.5		seasonal	時邪	季節病を引き起こす病原因子の一般名。
1.6.6		yang pathogen	陽邪	陽の病邪。
1.6.7		yin pathogen	陰邪	陰の病邪。
1.6.8		combined pathogen	合邪	複数の病邪の組み合わせ。
1.6.9		external contraction	外感	六淫(外的な病因要素)あるいは他の有害要素によって起こる疾患または病的状態。exopathic diseaseと同義。
1.6.10		six excesses	六淫	6つの過度あるいは不順な気候の影響の総称(風邪、寒邪、暑邪、湿邪、燥邪、火邪)。six climatic pathogenic factorsと同義。
1.6.11	風；風邪	wind	風	病原因子としての風。機敏な動き、素早い変化、上昇および解放作用を特徴とする。pathogenic windとも呼ばれる。
1.6.11	風；風邪	wind	風邪	病原因子としての風。機敏な動き、素早い変化、上昇および解放作用を特徴とする。pathogenic windとも呼ばれる。
1.6.12	寒；寒邪	cold	寒	病原因子としての寒さ。陽気への悪影響、活動の減速、凝固および収縮作用を特徴とする。pathogenic coldとも呼ばれる。

1.6.12	寒；寒邪	cold	寒邪	病原因子としての寒さ。陽気への悪影響、活動の減速、凝固および収縮作用を特徴とする。pathogenic coldとも呼ばれる。
1.6.13	暑；暑邪	summerheat	暑	病原因子としての暑さ。夏にのみ発生する。暑さおよび蒸発を特徴とする。pathogenic summerheatとも呼ばれる。
1.6.13	暑；暑邪	summerheat	暑邪	病原因子としての暑さ。夏にのみ発生する。暑さおよび蒸発を特徴とする。pathogenic summerheatとも呼ばれる。
1.6.14	濕；濕邪	dampness	濕	病原因子としての湿気。気機の阻害と混乱、重さ、粘性、および下方への流れを特徴とする。pathogenic dampnessとも呼ばれる。
1.6.14	濕；濕邪	dampness	濕邪	病原因子としての湿気。気機の阻害と混乱、重さ、粘性、および下方への流れを特徴とする。pathogenic dampnessとも呼ばれる。
1.6.15	燥；燥邪	dryness	燥	病原因子としての乾燥。乾燥を特徴とし、肺を傷つけ、体液を消耗させる傾向にある。pathogenic drynessとも呼ばれる。
1.6.15	燥；燥邪	dryness	燥邪	病原因子としての乾燥。乾燥を特徴とし、肺を傷つけ、体液を消耗させる傾向にある。pathogenic drynessとも呼ばれる。
1.6.16	火；火邪	fire	火	病原因子としての火。激しい熱を特徴とし、体液に害を及ぼし、気を消耗させ、出血を含む風邪を引き起こし、精神活動を害する傾向にある。pathogenic fireとも呼ばれる。
1.6.16	火；火邪	fire	火邪	病原因子としての火。激しい熱を特徴とし、体液に害を及ぼし、気を消耗させ、出血を含む風邪を引き起こし、精神活動を害する傾向にある。pathogenic fireとも呼ばれる。
1.6.17	熱；熱邪	heat	熱	病原因子としての熱。熱証を引き起こす。pathogenic heatとも呼ば
1.6.17	熱；熱邪	heat	熱邪	病原因子としての熱。熱証を引き起こす。pathogenic heatとも呼ば
1.6.18		external wind	外風	六淫の1つの風邪で、外風証を引き起こす。
1.6.19		external cold	外寒	六淫の1つの寒邪で、外寒証を引き起こす。
1.6.20		external	外濕	六淫の1つの湿邪で、外湿証を引き起こす。
1.6.21		external dryness	外燥	六淫の1つの燥邪で、外燥証を引き起こす。
1.6.22		internal wind	内風	腎風と同義。身体の陽気の異常な動きに起因する体内の風。
1.6.23		internal cold	内寒	陽気不足または陰寒の優勢に起因する体内の寒。
1.6.24		internal dampness	内濕	脾臓および腎臓の陽虚に起因する体内の湿。津の運化低下とそれによる水の停滞を伴う。
1.6.25		internal dryness	内燥	体液の消耗に起因する体内の燥。
1.6.26		wind-cold	風寒	外風と外寒が組み合わさった病邪。
1.6.27		wind-heat	風熱	外風と外熱が組み合わさった病邪。
1.6.28		wind-dampness	風濕	(1) 外風と外湿が組み合わさった病邪、(2) 軟組織の炎症を伴う関
1.6.29		wind-dryness	風燥	外風と外燥が組み合わさった病邪。
1.6.30		wind-phlegm	風痰	風邪と痰が組み合わさった病邪。
1.6.31		cold-dampness	寒濕	風邪と湿邪が組み合わさった病邪。
1.6.32		wind-cold-dampness	風寒濕	風邪、寒邪および湿邪が組み合わさった病邪。
1.6.33		dampness-heat	濕熱	湿邪と熱邪が組み合わさった病邪。
1.6.34		dampness-fire	濕火	低下した湿邪が火邪に変化し、脾胃陰を損傷する。
1.6.35		dampness turbidity	濕濁	湿邪と同義。湿邪の重く、粘着性の、濁った性質を表す。
1.6.36		foul turbid pathogen	濁邪	病邪となる湿濁または痰濁で、通常、陽気の動きを低下させる。
1.6.37		foul turbidity	穢濁	病因となる穢濁の気。瘴気を含む。
1.6.38		summerheat qi	暑氣	病原因子としての暑さ。
1.6.39		summerheat-heat	暑熱	病邪としての暑さで、熱証を特徴とする疾患を引き起こす。
1.6.40		summerheat-dampness	暑濕	暑邪と湿邪が組み合わさった病邪。
1.6.41		dryness qi	燥氣	病原因子としての乾燥。
1.6.42		dryness-heat	燥熱	燥邪と暑邪が組み合わさった病邪。
1.6.43		cool dryness	涼燥	涼燥証を引き起こす病原因子。
1.6.44		warm dryness	溫燥	溫燥証を引き起こす病原因子。
1.6.45		warm pathogen	溫邪	急性熱性疾患を引き起こすさまざまな病邪の総称。
1.6.46		pestilence	疫癘	感染性の強い流行性疾患の総称。
1.6.47	伏氣；伏邪	latent qi	伏氣	潜伏期を経た後に発症を引き起こす病邪。incubative pathogenとも呼ばれる。
1.6.47	伏氣；伏邪	latent qi	伏邪	潜伏期を経た後に発症を引き起こす病邪。incubative pathogenとも呼ばれる。
1.6.48	時行戾氣； 瘧氣；瘧毒	epidemic pathogen	時行戾氣	伝染性感染症を引き起こす病邪。pestilential qiとも呼ばれる。
1.6.48	時行戾氣； 瘧氣；瘧毒	epidemic pathogen	癘氣	伝染性感染症を引き起こす病邪。pestilential qiとも呼ばれる。
1.6.48	時行戾氣； 瘧氣；瘧毒	epidemic pathogen	疫毒	伝染性感染症を引き起こす病邪。pestilential qiとも呼ばれる。
1.6.49		toxin	毒	劇症疾患を引き起こす毒性の病邪。
1.6.50		heat toxin	熱毒	熱邪の蓄積によって生じる毒性の病邪。
1.6.51		fire toxin	火毒	(1) 火邪のくすぶりの過程で形成される病原因子、(2) 感染を伴う熱傷(やけど)。
1.6.52		dampness toxin	濕毒	湿邪の停滞によって形成される有毒の病原因子。腸で発生した場合には血便を、筋肉および下肢で発生した場合には脚の潰瘍を引き起こす場合がある。
1.6.53		cold toxin	寒毒	有毒な寒さを備えた寒邪。
1.6.54		seasonal toxin	時毒	(1) 有毒な病邪で、特定の季節に流行する、(2) 三陽経が伝染性の季節性病邪に侵されることで生じる、痛みを伴う頸部、頬、顎の腫
1.6.55		measles toxin	癩毒	麻疹を引き起こす病邪。

1.6.56		internal toxin	内毒	体内に潜伏する熱毒。
1.6.57		fetal toxin	胎毒	(1) 胎児に悪影響を及ぼす有毒な熱、(2) 先天性の病原因子、fetal toxicosisとしても知られる。
1.6.58		parasitic toxin	蟲毒	腹部の腫瘍、膨張、および腹水を特徴とする疾患を引き起こす可能性のある病原因子。worm toxinとしても知られる。
1.6.59	瘴毒；瘴氣；山嵐瘴氣	miasmatic toxin	瘴毒	特定のタイプのマラリアを引き起こすと思われる、有毒な山の気。miasmaとしても知られる。
1.6.59	瘴毒；瘴氣；山嵐瘴氣	miasmatic toxin	瘴氣	特定のタイプのマラリアを引き起こすと思われる、有毒な山の気。miasmaとしても知られる。
1.6.59	瘴毒；瘴氣；山嵐瘴氣	miasmatic toxin	山嵐瘴氣	特定のタイプのマラリアを引き起こすと思われる、有毒な山の気。miasmaとしても知られる。
1.6.60		malign qi	惡氣	(1) 六淫および悪疫性の因子を含む邪氣の一般名、(2) 気および血の停滞に起因する病的産物。evil qiとも呼ばれる。
1.6.61		internal damage	内傷	臟氣に対する有害な影響。過度の七情、老倦、不適切な食事および房勞によって形成される。
1.6.62		five minds	五志	喜、怒、思、憂、恐の総称。five emotionsと同義。
1.6.63		excess among the five minds	五志過極	過度の怒、喜、悲、思、恐。内臟の気および血の正常な流れを妨げる場合がある。five excessive emotionsと同義。
1.6.64		transformation of the five minds into fire	五志化火	五志(怒、喜、悲、思、恐)の熱邪への転換で、火証を伴う。transformation of the five emotions into fireと同義。
1.6.65		seven emotions	七情	喜、怒、思、憂、悲、恐、驚の総称で、過剰な場合に疾患を引き起こす内因性因子とされる。
1.6.66		joy	喜	七情の1つで、過剰になると心気の停滞が起こることがあり、放心、動悸、不眠症、さらには精神障害が生じる。
1.6.67		anger	怒	七情の1つで、過剰になると腎気が血と共に上昇することがあり、頭痛、顔面紅潮、眼の充血あるいは吐血、さらには突然の気絶が生じる。
1.6.68		anxiety	憂	七情の1つで、過剰になると肺を害することがある。思と組み合わせると腫脹を損なうことがある。
1.6.69		thought	思	七情の1つで、過剰になると脾氣の停滞を起こし、さらには脾臟の運化機能を害することがある。
1.6.70		sorrow	悲	七情の1つで、過剰になると肺氣を消耗することがあり、息切れ、倦怠、および疲労が生じる。
1.6.71		fear	恐	七情の1つで、過剰になると腎気が低下することがあり、尿および便失禁、さらには失神を生じる。
1.6.72		fright	驚	七情の1つで、突然に起こる。心気が乱れることがあり、動悸あるいは精神錯乱が生じる。
1.6.73		overexertion and fatigue	勞倦	過度な活動による異常な疲労。overstrainと同義。
1.6.74		sexual overindulgence	房勞	性的耽溺に起因する極度の疲労。
1.6.75		flavor predilection	五味偏嗜	特定の風味または味に対する習慣性の嗜好で、疾患を引き起こすことがある。flavor craving/ preferenceと同義。
1.6.76		dietary irregularities	飲食不節	健康に有害な食生活で、生、冷たい、あるいは汚染された食物の摂取、暴食または極度の空腹、偏食、およびアルコール依存症をアルコールへの過度の依存状態。
1.6.77		liquor addiction	酒癖	
1.6.78		failure to acclimatize to a new environment	水土不服	新しい自然環境および生活環境への一時的な不適応。non-acclimatizationと同義。
1.6.79		phlegm-retained fluid	痰飲	痰と水飲が組み合わさったもので、疾患を引き起こす。phlegm-fluid retentionとも呼ばれる。
1.6.80		phlegm	痰	(1) 病変した気道からの病的な分泌物で、sputumとして知られる、(2) 身体に萎積し、さまざまな疾患を引き起こす粘性の不透明な病異質な水代謝に起因する透明な水様の病的産物。fluid retentionとも呼ばれる。
1.6.81	飲；水飲	retained fluid	飲	
1.6.81	飲；水飲	retained fluid	水飲	異常な水代謝に起因する透明な水様の病的産物。fluid retentionとも呼ばれる。
1.6.82		water-dampness	水濕	病因としての水あるいは湿。
1.6.83		phlegm-dampness	痰濕	痰と内湿が組み合わさったもので、疾患を引き起こす。dampness-phlegmと同義。
1.6.84		static blood	瘀血	血の停滞による病的産物で、病原因子となり得る溢血および血流の低下または内臟の鬱血を含む。blood stasisまたはstagnant blood
1.6.85		constitutional insufficiency	稟賦不足	先天的な虚弱体質で、虚状態の主な病因要素。
1.6.86		three causes	三因	古来からの疾患原因の分類(外因、内因、不内外因)。three categories of causes of diseaseとも呼ばれる。
1.6.87		internal cause	内因	三因の1つで、体内で生じる原因。主に過剰な情動的变化を指す。
1.6.88		external cause	外因	三因の1つで、体外で生じる原因。主に六淫と悪疫性の病原因子
1.6.89		cause neither internal nor external	不内外因	三因の1つで、不規則な食生活、過度の活動と疲労、外傷および虫さされや動物咬傷を含む。
1.7.0		Mechanism of Disease	病機	
1.7.1		mechanism of disease	病機	疾患の発生および進行機序。pathogenesisと同義。

1.7.2		theory of mechanism of disease	病機學說		疾患の発生および進行機序に関する理論。
1.7.3		location of	病位		病気に冒された身体の部位。
1.7.4		nature of disease	病性		疾患の熱、寒、実、虚の特性。
1.7.5		disease pattern	病證		特定の病期における原因、病性、および病位の要約。
1.7.6		struggle between the healthy qi and pathogenic qi	正邪相争		疾患の基本的機序。あらゆる疾患は、正気と病邪(邪気)による争いの過程であると考えられている。
1.7.7	邪正盛衰; 邪正消長	exuberance and debilitation of the healthy qi or pathogenic qi	邪正盛衰		疾患の過程と予後を決定する主要な要因。正気の力が病邪(邪気)を上回れば回復および治癒に向かい、逆に病邪の力が正気を上回ると悪化、さらには死に至る。
1.7.7	邪正盛衰; 邪正消長	exuberance and debilitation of the healthy qi or pathogenic qi	邪正消長		疾患の過程と予後を決定する主要な要因。正気の力が病邪(邪気)を上回れば回復および治癒に向かい、逆に病邪の力が正気を上回ると悪化、さらには死に至る。
1.7.8		sudden onset	卒發		罹病後の急速な症状発現。
1.7.9		gradual onset	徐發		罹病後の漸次的な症状発現。
1.7.10		taxation relapse	勞復		過労による疾患の再発。
1.7.11		relapse due to dietary	食復		不適切な食生活による疾患の再発。
1.7.12		sexual taxation relapse	女勞復		過度の性的行為による疾患の再発。
1.7.13		dissociation of yin and yang	陰陽離決		陰と陽の分離。命の終わりを指す。
1.7.14	陰陽失調; 陰陽不和	yin-yang disharmony	陰陽失調		陰と陽の不均衡および不調整に起因するあらゆる病的変化を指す一般用語。
1.7.14	陰陽失調; 陰陽不和	yin-yang disharmony	陰陽不和		陰と陽の不均衡および不調整に起因するあらゆる病的変化を指す一般用語。
1.7.15		abnormal exuberance of yin or yang	陰陽偏盛		陰邪または陽邪によって正常レベルよりも高くなった陰または陽を特徴とする病的変化。
1.7.16		abnormal debilitation of yin or yang	陰陽偏衰		陰邪または陽邪によって正常レベルよりも低くなった陰虚または陽虚を特徴とする病的変化。
1.7.17		spontaneous harmonization of yin and yang	陰陽自和		生得の制御機能による陰陽の不均衡の自然な回復。spontaneous restoration of yin-yang equilibriumとしても知られる。
1.7.18		damage to yang	傷陽		陽気の障害を特徴とするあらゆる病的変化を指す一般用語。
1.7.19		damage to yin	傷陰		陰気の障害を特徴とするあらゆる病的変化を指す一般用語。
1.7.20		detriment to yang affects yin	陽損及陰		陽気の衰弱によって陰の生成が阻害される病的変化。陰虚および陽虚に至るが、陽虚が優勢。
1.7.21		detriment to yin affects yang	陰損及陽		陰の消耗によって陽気が衰弱する病的変化。陰虚および陽虚に至るが、陰虚が優勢。
1.7.22		yin deficiency	陰虚		陰の不足を特徴とする病的変化で、滋潤、沈静化、降濁および陽抑制機能の低下を伴う。陽気の相対的な活動亢進に至る。漢方医学では、「陰」と「虚」が個別に解釈される。
1.7.23		yin deficiency with internal heat	陰虚内熱		陰の不足によって陽との釣り合いが取れなくなり、体内で虚熱が生じる。
1.7.24		yin deficiency with yang	陰虚陽亢		精、血および津の不足により陽を抑制できなくなり、陽の活動亢進が生じる。
1.7.25		yin deficiency with effulgent	陰虚火旺		陰の不足によって陽を抑制できなくなり、陰の火旺が生じる。
1.7.26		deficiency fire	虚火		陰津の消耗によって陽火を抑制できなくなり、虚火が生じる。
1.7.27		deficiency fire flaming upward	虚火上炎		陰虚で生じる病的変化で、陽を抑制できず、虚火の炎上を生じる。
1.7.28		frenetic stirring of the ministerial	相火妄動		肝腎陰虚により、相火の活動亢進と増大が生じる。
1.7.29		yin exuberance	陰盛		正気は害されていないながら陰邪が過盛な病的状態。実寒証を生じる。yin excessと同義。
1.7.30		yin exuberance with yang debilitation	陰盛陽衰		過盛な陰寒とその結果生じる陽気の衰弱。yin excess with yang deficiencyと同義。
1.7.31		yang deficiency	陽虚		身体の陽気不足を特徴とする病的状態で、機能、代謝活性および身体反応の低下、ならびに虚寒証の発現に至る。漢方医学では、「陽」と「実」が個別に解釈される。
1.7.32		yang deficiency with yin exuberance	陽虚陰盛		陽の不足によって陰との釣り合いが取れなくなり、陰の相対的な過盛に至る。yang deficiency with yin excessと同義。
1.7.33		yang exuberance	陽盛		陰は衰弱していないながら陽が過盛な病的状態。実熱証を生じる。yang excessと同義。
1.7.34		yang exuberance with yin debilitation	陽盛陰衰		陽盛と陰の衰弱が同時に存在する病的状態。yang excess with yin deficiencyと同義。

1.7.35		yin-yang repulsion	陰陽格拒	体内の極度に過剰な陰が衰弱した陽を体外へと拡散させる、あるいは体内の極度に過剰な陽が不足している陰を体外へ追い出す重篤な病的状態。仮熱または仮寒の症状を生じる。
1.7.36	陰盛格陽; 格陽	exuberant yin repelling yang	陰盛格陽	体外の極度に過剰な陰が衰弱した陽を体表で浮遊させる病的状態。仮熱の症状を生じる。excessive yin repelling yangと同義。repelled yangとしても知られる。
1.7.36	陰盛格陽; 格陽	exuberant yin repelling yang	格陽	体外の極度に過剰な陰が衰弱した陽を体表で浮遊させる病的状態。仮熱の症状を生じる。excessive yin repelling yangと同義。repelled yangとしても知られる。
1.7.37	陽盛格陰; 格陰	exuberant yang repelling yin	陽盛格陰	体内の極度に過剰な陽が不足している陰を体表で浮遊させる病的状態。仮熱の症状を生じる。excessive yang repelling yinと同義。repelled yinとしても知られる。
1.7.37	陽盛格陰; 格陰	exuberant yang repelling yin	格陰	体内の極度に過剰な陽が不足している陰を体外に閉め出す病的状態。仮寒の症候を生じる。excessive yang repelling yinと同義。repelled yinとしても知られる。
1.7.38		upcast yang	戴陽	下半身の過剰な陰が衰弱した陽を上半身表面に追いやる病的状態。
1.7.39		dual deficiency of yin and yang	陰陽兩虚	陰陽双方の不足を特徴とする病的状態。
1.7.40	虚陽上浮; 孤陽上越	deficiency yang floating upward	虚陽上浮	精と血の消耗により陽がその基盤を失い、陽が上半身表面を浮遊する病的状態。
1.7.40	虚陽上浮; 孤陽上越	deficiency yang floating upward	孤陽上越	精と血の消耗により陽がその基盤を失い、陽が上半身表面を浮遊する病的状態。
1.7.41	亡陰; 脱陰; 陰脱	yin collapse	亡陰	突然の津の著しい喪失によって生じる病的変化で、虚脱状態に至る。
1.7.41	亡陰; 脱陰; 陰脱	yin collapse	脱陰	突然の津の著しい喪失によって生じる病的変化で、虚脱状態に至る。
1.7.41	亡陰; 脱陰; 陰脱	yin collapse	陰脱	突然の津の著しい喪失によって生じる病的変化で、虚脱状態に至る。
1.7.42	亡陽; 脱陽; 陽脱	yang collapse	亡陽	陽気が突然失われる病的変化で、急激な身体機能不全に至る。
1.7.42	亡陽; 脱陽; 陽脱	yang collapse	脱陽	陽気が突然失われる病的変化で、急激な身体機能不全に至る。
1.7.42	亡陽; 脱陽; 陽脱	yang collapse	陽脱	陽気が突然失われる病的変化で、急激な身体機能不全に至る。
1.7.43		collapse of yang and exhaustion of yin	陽亡陰竭	陰陽双方の衰弱。重篤患者の瀕死状態を指す。
1.7.44		exhaustion of yin and collapse of yang	陰竭陽脱	陰津の完全な消耗および陽気の衰弱と、その結果生じる機能不全。患者が重篤な状態にあることを示す。
1.7.45		internal block and external binding in yin	内閉外脱	体内の過剰な邪気の減退/停滞を特徴とする病的変化で、衰弱した原気の排除を伴う。
1.7.46		binding in yin	結陰	陰経絡に結合する邪気。
1.7.47		binding in yang	結陽	四肢における陽気の流れの停滞で、水分貯留および浮腫に至る。
1.7.48		exterior and interior	表裏	(1) 身体の外部(皮膚、体毛、筋肉および体表の経絡)および内部(臓腑、気、血、および骨髄)、(2) 証診断の八綱の2つで、外部病邪の侵入深さを指す。
1.7.49		half-exterior half-interior	半表半裏	表裏の間の位置。
1.7.50		exterior cold	表寒	風寒による身体外部の攻撃で、主に風および寒に対する高度な抵抗反応、頭痛、斜頸、四肢および関節の痛み、舌の苔白および変動性の緊張脈などの症状が発現する。
1.7.51		exterior heat	表熱	風熱による身体外部の攻撃で、主に風および寒に対する軽微な抵抗反応、中等度の発熱、頭痛、軽微な口渴、舌の白苔または黄苔、舌先端部の赤らみ、および変動性の頻脈などの症状が発現す。
1.7.52		exterior deficiency	表虚	体表部における衛気虚。自然発汗または風に対する抵抗反応に付随して起こる発汗、および変動性の微弱な頻脈を特徴とする。
1.7.53		exterior excess	表實	外部からの病邪の侵入。筋肉での衛気の集合および無発汗によって特徴づけられる毛穴の閉鎖、悪寒および変動性の実脈を引き起。
1.7.54		interior cold	裏寒	体内での陰寒の優勢または陽気の減退を特徴とする病的状態。
1.7.55		interior heat	裏熱	体内の熱(熱邪の過剰または内熱を伴う陰虚による)を特徴とする病的状態。
1.7.56		interior	裏虚	内臓の気、血、陰および陽の不足を指す一般用語。
1.7.57		interior excess	裏實	(1) 外部病邪の熱への転換と、体内への侵入および胃腸への結合によって生じる病的変化、(2) 痰、水飲、気および血の停滞、腸内寄生虫および未消化の食物など、病的産物の蓄積を指す一般用語。
1.7.58		exterior cold and interior heat	表寒裏熱	表寒と裏熱の同時存在を特徴とする病的状態。
1.7.59		exterior heat and interior cold	表熱裏寒	表熱と裏寒の同時存在を特徴とする病的状態。
1.7.60		exterior deficiency and interior excess	表虚裏實	表虚と裏實の同時存在を特徴とする病的状態。
1.7.61		exterior excess and interior cold	表實裏虚	表実と裏虚の同時存在を特徴とする病的状態。
1.7.62		cold in both exterior and interior	表裏俱寒	表寒と裏寒の同時存在を特徴とする病的状態。

1.7.63		heat in both exterior and interior	表裏俱熱		表熱と裏熱の同時存在を特徴とする病的状態。
1.7.64		dual excess of the exterior and interior	表裏俱實		表実と裏実の同時存在を特徴とする病的状態。
1.7.65		dual deficiency of the exterior and interior	表裏俱虚		表虚と裏虚の同時存在を特徴とする病的状態。
1.7.66		dual disease of the exterior and interior	表裏同病		表裏双方における疾患の存在。
1.7.67	表氣不固；衛氣不固	insecurity of exterior qi	表氣不固		衛氣の不足による、外部病邪からの体表保護不能。insecurity of defense qi と同義。
1.7.67	表氣不固；衛氣不固	insecurity of exterior qi	衛氣不固		衛氣の不足による、外部病邪からの体表保護不能。insecurity of defense qi と同義。
1.7.68		inward invasion of exterior	表邪内陷		外部病邪の体内への侵入。
1.7.69		pathogenic heat passing into the interior	熱邪傳裏		外部の熱邪が体内へ侵入し、内熱証を引き起こす疾患経過。
1.7.70		exterior pathogen entering the interior	表邪入裏		外部病邪がまず外部を攻撃し、その後体内に侵入し、内臓機能を害する疾患経過。
1.7.71		interior disease moving out to the exterior	裏病出表		正氣と病邪の争いを経て、疾患が体内から体外へと現れる経過。
1.7.72		cold and heat	寒熱		(1) 疾患の性質を識別するための1対の原則(陰が過盛になると寒になり、陽が優性になると熱になる)、(2) 悪寒および発熱。
1.7.73		excess cold	實寒		陰寒の病邪に侵されたことによって生じる病的変化。
1.7.74		deficiency cold	虚寒		陽氣が不足し、十分な暖が得られない場合に生じる病的変化。
1.7.75		heat binding in the lower energizer	熱結下焦		腸および膀胱における熱の蓄積で、下腹部の膨満および痛み、便秘、少量の暗色尿さらには血尿、および時に絶え間ない動きを伴う下腹部の硬直と圧痛を引き起こす。
1.7.76		lower energizer dampness-heat	下焦濕熱 濕熱下注		下焦への濕熱注入を特徴とする病的変化。大腸濕熱、膀胱濕熱、濕熱による精室のつまり、病的な帯下、陰部搔痒、濕熱に起因する疼痛を伴う下肢関節の腫脹を含む。downward flow of dampness-
1.7.77		exuberant heat damaging fluid	熱盛傷津		実熱が体液を浪費する過程。excessive heat damaging fluid と同義。
1.7.78		cold enveloping fire	寒包火		風寒と蓄積した内熱の結合を特徴とする病的変化。
1.7.79		cold-heat complex	寒熱錯雜		複雑な熱寒の状態(上半身に熱、下半身に寒、および外部は寒、内部は熱など)によって生じる病的変化。
1.7.80		upper body heat and lower body cold	上熱下寒		上半身に熱、下半身に寒が同時存在する複雑な状態。heat above and cold below と同義。
1.7.81		upper body cold and lower body heat	上寒下熱		上半身に寒、下半身に熱が同時存在する複雑な状態。cold above and heat below と同義。
1.7.82		cold and heat repulsion	寒熱格拒		極めて過剰な寒/熱が熱/寒を四肢へと追いやる病的変化の一種。
1.7.83		true cold with false heat	真寒假熱		体内での陰寒の増大を特徴とする病的変化で、假熱の症状を伴う。
1.7.84		true heat with false cold	真熱假寒		体内での過剰な熱を特徴とする病的変化で、假寒の症状を伴う。
1.7.85		deficiency and excess	虚實		病原因子に対する身体の抵抗力の状態を調べる際の指針の1つ。虚は正氣の不足を、実とは邪氣の過剰を指す。
1.7.86		deficiency	虚		(1) 正氣の不足、(2) 虚弱体質、(3) 病邪に対する弱い反応。
1.7.87		excess	實		(1) 邪氣の過剰、(2) 丈夫な体質 (3) 病邪に対する強い反応
1.7.88		deficiency-excess complex	虚實夾雜		疾患経過において邪氣の過剰と正氣の衰弱双方が起こる病的状態。
1.7.89		excess with deficiency complication	實中夾虚		実が優勢な状況下での、虚の症状を合併した実状態。
1.7.90		deficiency with excess complication	虚中夾實		虚が優勢な状況下での、実の症状を合併した虚状態。
1.7.91		upper deficiency and lower excess	上虚下實		上半身における正氣の不足および下半身における邪氣の過剰。deficiency above and excess below と同義。
1.7.92	上盛下虚；上實下虚	upper excess and lower deficiency	上盛下虚		上半身における邪氣の過盛および下半身における正氣の不足。excess above and deficiency below と同義。
1.7.92	上盛下虚；上實下虚	upper excess and lower deficiency	上實下虚		上半身における邪氣の過盛および下半身における正氣の不足。excess above and deficiency below と同義。
1.7.93		true or false deficiency-excess	虚實真假		疾患本来の性質とは逆となる、虚実の假象の発現。

1.7.94		true excess with false deficiency	眞實假虚		仮虚象を伴う実証。
1.7.95		true deficiency with false excess	眞虚假實		仮実象を伴う虚証。
1.7.96		conversion of excess into deficiency	由實轉虚		邪氣の過剰から正氣の不足へと変化する疾患過程。
1.7.97		conversion of deficiency into excess	由虚轉實		正氣の不足から邪氣の過剰へと変化する疾患過程。
1.7.98		qi deficiency	氣虚		氣の不足を指す一般用語で、内臓機能の低下および身体の抵抗力低下に至る。
1.7.99	氣虚不攝； 氣不攝血	qi deficiency failing to control blood	氣虚不攝		氣虚の病的変化で、氣による津(血を含む)の保持が不能となる。
1.7.99	氣虚不攝； 氣不攝血	qi deficiency failing to control blood	氣不攝血		氣虚の病的変化で、氣による津(血を含む)の保持が不能となる。
1.7.100		qi deficiency with fullness in the middle	氣虚中滿		氣虚の病的変化で、氣の不足により中焦での正常な運化が不可能となり、上腹部および腹部の膨滿を生じる。
1.7.101		qi deficiency with blood stasis	氣虚血瘀		氣虚の病的変化で、氣の不足により血流の維持が不可能となり、瘀血を生じる。
1.7.102		qi movement disorder	氣機失調		氣の活動(昇、降、出、入)の乱れを指す一般用語。
1.7.103	氣機鬱滯； 氣鬱	qi movement stagnation	氣機鬱滯		氣の流れの低下と停滞。内臓および経絡の機能障害を生じる。qi stagnationと同義。
1.7.103	氣機鬱滯； 氣鬱	qi movement stagnation	氣鬱		氣の流れの低下と停滞。内臓および経絡の機能障害を生じる。qi stagnationと同義。
1.7.104		stagnant qi transforming into fire	氣鬱化火		長期にわたる氣の停滞が火に変化する病的変化。
1.7.105		inhibited qi movement	氣機不利		氣機の障害、妨害、停滞による内臓および経絡の機能障害。qi movement depressionと同義。
1.7.106		inhibited qi transformation	氣化不利		陽虚の病的変化で、消化吸収の低下、または水代謝の低下が生じ、水湿または痰の停滞に至る。
1.7.107		qi counterflow	氣逆		氣の正常な下降流とは逆の流れ。qi refluxと同義。
1.7.108		qi fall	氣陷		氣虚の病的変化で、持ち上げる、あるいは固定機能の不全を特徴とする。qi sinkingとしても知られる。
1.7.109		sunken middle qi	中氣下陷		脾氣虚の病的変化で、昇清および他の持ち上げまたは固定機能の不全を特徴とする。
1.7.110		qi stagnation	氣滯		氣の循環障害を特徴とする病的変化で、氣機の停滞および内臓の機能不全に至り、罹患部位で拡張あるいは疼痛が発現する。
1.7.111		qi stagnation due to cold	寒凝氣滯		寒邪の硬直作用で、氣機の停滞に至る。
1.7.112		qi block	氣閉		正常な氣機の障害を特徴とする病的変化。
1.7.113		qi collapse	氣脱		氣の外脱で、突発的な正氣の障害、大量失血、大量発汗、過度の嘔吐および下痢、あるいは慢性疾患における持続的な衰弱による血の不足を特徴とするあらゆる病的変化。内臓、組織および経絡が滋養されない。
1.7.114		blood deficiency	血虚		血の不足を特徴とするあらゆる病的変化。内臓、組織および経絡が滋養されない。
1.7.115		blood stasis	血瘀		身体の特定位位における血流停滞の病的状態。氣の流れの停滞、氣虚または血虚、外傷、あるいは陰寒に起因する。
1.7.116		blood	血逆		経絡における血の逆流を特徴とする病的変化。氣と血の分離を生
1.7.117		blood heat	血熱		過盛な熱または火が血に侵入する病的変化。通常、出血を生じ
1.7.118		blood cold	血寒		体外あるいは陽虚に由来する寒が血分に侵入する病的変化。硬直作用により氣滯あるいは血瘀を生じる。
1.7.119		blood flowing counterflow with qi	血隨氣逆		上方向への氣の逆流が上方向への血の急激な流れを生じる病的変化。
1.7.120	亡血；血脱	blood collapse	亡血		急性の危険な血虚で、多くの場合大量出血に起因する。blood desertionとも呼ばれる。
1.7.120	亡血；血脱	blood collapse	血脱		急性の危険な血虚で、多くの場合大量出血に起因する。blood desertionとも呼ばれる。
1.7.121		disharmony of qi and blood	氣血失調		氣と血の相互協調関係におけるあらゆる障害。
1.7.122		blood stasis due to qi stagnation	氣滯血瘀		氣の長期的あるいは高度な停滞が血流を阻害する病的変化。氣滯と血瘀の同時存在を特徴とする。
1.7.123		qi disease affecting the	氣病及血		氣の病的状態が、血液障害を引き起こす傾向にある病的変化。
1.7.124	血不歸經； 血不循經	blood failing to stay in the meridians	血不歸經		溢血を生じる病的変化。
1.7.124	血不歸經； 血不循經	blood failing to stay in the meridians	血不循經		溢血を生じる病的変化。

1.7.125		frenetic movement of blood due to heat	血熱妄行		熱が溢血を引き起こす病的変化。
1.7.126	氣隨血脫； 血脫氣脫	qi collapse following	氣隨血脫		大量失血が氣脱に至る病的状態。
1.7.126	氣隨血脫； 血脫氣脫	qi collapse following	血脫氣脱		大量失血が氣脱に至る病的状態。
1.7.127		dual deficiency of qi and blood	氣血兩虚		氣虚と血虚の同時存在。
1.7.128		dual deficiency of qi and yin	氣陰兩虚		氣虚と陰虚の同時存在。
1.7.129		damage to fluid	傷津		体液のさまざまな障害および喪失を指す一般用語。
1.7.130	津脱； 亡津液	fluid collapse	津脱		高度な津の障害。通常、大量発汗、過度の嘔吐または下痢に起因する。
1.7.130	津脱； 亡津液	fluid collapse	亡津液		高度な津の障害。通常、大量発汗、過度の嘔吐または下痢に起因する。
1.7.131		fluid-humor depletion	津液虧損		津液の不足による身体組織の滋潤不能を特徴とする病的変化。
1.7.132		fluid consumption and	津枯血燥		津の不足が内熱を伴う血燥を引き起こす病的変化。
1.7.133		fluid depletion and blood stasis	津虧血瘀		津の不足が血流の停滞を引き起こす病的状態。
1.7.134		qi collapse due to humor depletion	氣隨液脱		津の大量喪失に続き氣脱が生じる病的変化。
1.7.135		qi failing to form fluid	氣不化津		気化作用の低下を伴う陽氣の不足による、体液の生成不能。
1.7.136		water retention due to obstruction of qi	水停氣阻		体内での水分貯留が氣機の障害を引き起こす病的状態。
1.7.137		upper body reversal and lower body	上厥下竭		下半身での真陰および真陽の完全な消耗を特徴とする病的変化で、失神を伴う。
1.7.138		lower body reversal with upper body	下厥上冒		脾臓による昇清が不能となり、胃氣が頭へと逆方向に上昇する病的変化。めまい、悪心を伴う霧視、嘔吐および上腹部の膨満および疼痛が生じる。
1.7.139		exuberant heart qi	心氣盛		病原因子によって心氣が過盛になる病的変化。不安または他の精神異常が生じる。
1.7.140	心氣虚； 心氣不足	heart qi deficiency	心氣虚		心氣の機能低下を示す病的状態。通常、動悸、息切れ、前胸部の圧迫感、自然発汗、および弱い不整脈が発現する。
1.7.140	心氣虚； 心氣不足	heart qi deficiency	心氣不足		心氣の機能低下を示す病的状態。通常、動悸、息切れ、前胸部の圧迫感、自然発汗、および弱い不整脈が発現する。
1.7.141		disquieted heart qi	心氣不寧		重度の動悸を伴う不安感、驚きやすさ、心煩、および不眠を特徴とする病的変化。restless heart qiと同義。
1.7.142	心氣不收； 心氣不固	non-contraction of heart qi	心氣不收		心氣が浮遊する病的状態。精神の消耗、動悸、驚きやすさを特徴とする。insecurity/dispersion of heart qiと同義。
1.7.142	心氣不收； 心氣不固	non-contraction of heart qi	心氣不固		心氣が浮遊する病的状態。精神の消耗、動悸、驚きやすさを特徴とする。insecurity/dispersion of heart qiと同義。
1.7.143	心血虚； 心血不足	heart blood deficiency	心血虚		心臓の病的変化で、めまい、不眠、多夢、動悸、および弱脈を生じる。
1.7.143	心血虚； 心血不足	heart blood deficiency	心血不足		心臓の病的変化で、めまい、不眠、多夢、動悸、および弱脈を生じる。
1.7.144		heart blood stasis (obstruction)	心血瘀阻		心血管の血流が阻害される心臓の病的変化。窒息感および前胸部の疼痛を生じる。
1.7.145	心陰虚； 心陰不足	heart yin deficiency	心陰虚		陰虚により陽を抑制できない心臓の病的変化。心陽が相対的に優性となり、精神不安定、不眠、寝汗、掌および足の裏の熱感などの症候が発現する。
1.7.145	心陰虚； 心陰不足	heart yin deficiency	心陰不足		陰虚により陽を抑制できない心臓の病的変化。心陽が相対的に優性となり、精神不安定、不眠、寝汗、掌および足の裏の熱感などの症候が発現する。
1.7.146	心陽虚； 心陽不足	heart yang deficiency	心陽虚		血および血管の制御、ならびに精神活動の抑制における心機能の低下を指す病的変化。陽虚に関連し、寒証を引き起こす。
1.7.146	心陽虚； 心陽不足	heart yang deficiency	心陽不足		血および血管の制御、ならびに精神活動の抑制における心機能の低下を指す病的変化。陽虚に関連し、寒証を引き起こす。
1.7.147		heart fire flaming upward	心火上炎		心経に沿って火が上方へと広がる病的変化。精神不安定および言語機能の低下を生じる。
1.7.148		hyperactive heart fire	心火亢盛		心火の過盛を特徴とする病的変化。精神障害、津の障害、および出血を生じる。
1.7.149	心火内熾； 心火内焚	internal blazing of heart fire	心火内熾		心火の過盛を特徴とする病的変化。精神活動を阻害し、心煩、不眠、動悸、情動不安、さらには躁病を引き起こす。
1.7.149	心火内熾； 心火内焚	internal blazing of heart fire	心火内焚		心火の過盛を特徴とする病的変化。精神活動を阻害し、心煩、不眠、動悸、情動不安、さらには躁病を引き起こす。
1.7.150		overconsumption of heart nutrient	心營過耗		心臓の營氣が熱によって過剰に消費される、あるいは慢性的な不足状態にある病的変化。衰弱、夜間の発熱および心煩を引き起こす。
1.7.151		spirit failing to keep to its abode	神不守舍		神が心臓を離れた際の精神異常。
1.7.152		heat damaging bright spirit	熱傷神明		熱性疾患で壯熱によって引き起こされる昏睡、意識喪失、譫妄などの精神障害。

1.7.153		heat entering the pericardium	熱入心包		流行性熱性疾患において營分および血分で発生する病的な状態。壯熱、昏睡、譫妄、手足の冷え、痙攣などが発現する。
1.7.154		reverse transmission to the pericardium	逆傳心包		急性熱性疾患の発症直後に起こる意識障害または昏睡。温邪が気分を介することなく、直接心膜に侵入する。
1.7.155	痰蒙心包； 痰迷心竅	phlegm clouding the pericardium	痰蒙心包		痰が精神錯乱を引き起こす病的変化。phlegm confounding the orifices of the heartと同義。
1.7.155	痰蒙心包； 痰迷心竅	phlegm clouding the pericardium	痰迷心竅		痰が精神錯乱を引き起こす病的変化。phlegm confounding the orifices of the heartと同義。
1.7.156		phlegm-fire harassing the heart	痰火擾心		火熱および痰濁が心神を攻撃する病的変化。精神障害に至る。
1.7.157		water qi intimidating the heart	水氣凌心		貯留水の急増が心臓の障害を引き起こす病的変化。
1.7.158		effulgent heart-liver fire	心肝火旺		過盛な肝火および心火が精神活動を阻害する、あるいは血管損傷および血流の乱れを生じる病的変化。
1.7.159		heart-liver blood deficiency	心肝血虚		心血虚および肝血虚が精神活動、頭部、眼、筋肉、爪から栄養を奪う病的変化。
1.7.160		heart-stomach fire ablaze	心胃火燔		極度の心熱が精神不安を、胃火が津の障害を引き起こす際に起こる病的変化。
1.7.161		dual deficiency of the heart-	心脾兩虚		心血および脾気双方の不足が心機能の障害と動揺および脾臓の運化不全に至る病的変化。
1.7.162		non-interaction between the heart and kidney	心腎不交		心臓と腎臓の正常な関係の乱れ。腎陰虚および活発な心火に起因する。
1.7.163		heart-lung qi deficiency	心肺氣虚		心気虚および肺気虚を特徴とする病的変化。血流障害および気の拡散を伴う。
1.7.164		heart deficiency with timidity	心虚膽怯		心気および胆気双方の不足を特徴とする病的変化。動揺および驚きや不安に対する脆弱性を呈する。
1.7.165		small intestinal excess heat	小腸實熱		心火の小腸への移動に起因する実熱の病的変化。
1.7.166		small intestinal deficiency cold	小腸虚寒		内寒を伴う陽気の不足による小腸の機能障害。泌別清濁に悪影響を及ぼす。
1.7.167	肝氣實；肝氣盛	excess of liver qi	肝氣實		肝臓または肝経における過剰な邪気存在。exuberance of liver qiと同義。
1.7.167	肝氣實；肝氣盛	excess of liver qi	肝氣盛		肝臓または肝経における過剰な邪気存在。exuberance of liver qiと同義。
1.7.168		liver qi ascending counter-flow	肝氣上逆		活動が亢進した肝気による上半身の攻撃。めまい、頭痛、顔面紅潮、耳鳴り、難聴、胸部および下肋部の充満感および疼痛、おくび、胃酸逆流、さらには吐血および緊張した表脈が発現する。
1.7.169		constrained liver qi	肝氣不舒		肝機能障害に至る障害。興奮性、胸部、下肋部および下腹部の膨満および疼痛、女性では乳房の膨張痛および月経異常が発現する。
1.7.170		disharmony of liver qi	肝氣不和		肝臓の円滑化・排出機能の病的変化。興奮性、下肋部、乳房あるいは下腹部の膨満および疼痛、月経異常を引き起こす。
1.7.171		transverse invasion of liver	肝氣横逆		低下した肝気が横方向に走り、脾臓および胃を害する病的変化。
1.7.172		liver qi invading the stomach	肝氣犯胃		低下した肝気が横方向に走り、胃の食物受け入れおよび消化機能を害する病的変化。
1.7.173		liver qi invading the spleen	肝氣犯脾		低下した肝気が横方向に走り、脾臓の運化機能を害する病的変化。
1.7.174		liver deficiency	肝虚		肝臓の虚状態(肝気虚、肝血虚、肝陰虚、肝陽虚など)を指す一般
1.7.175		liver qi deficiency	肝氣虚		気虚を特徴とする病的状態で、気の流れの円滑化における肝機能障害をもたらす。
1.7.176		liver blood deficiency	肝血虚		肝臓における血の減少を特徴とする病的状態。
1.7.177		liver yin deficiency	肝陰虚		肝臓の陰津不足を特徴とする病的変化。頭部、眼、腱および爪の滋養が不能となり、虚熱が生成される。
1.7.178	肝陽虚；肝虚寒	liver yang deficiency	肝陽虚		肝臓の陽気不足を特徴とする病的変化。血の疏泄および貯蔵機能が低下し、虚寒が生成される。liver deficiency coldとも呼ばれる。
1.7.178	肝陽虚；肝虚寒	liver yang deficiency	肝虚寒		肝臓の陽気不足を特徴とする病的変化。血の疏泄および貯蔵機能が低下し、虚寒が生成される。liver deficiency coldとも呼ばれる。
1.7.179	肝陽上亢；肝陽偏旺	ascendant hyperactivity of liver yang	肝陽上亢		肝腎陰の不足により、肝陽が制御不能となり、上昇する病的変化。
1.7.179	肝陽上亢；肝陽偏旺	ascendant hyperactivity of liver yang	肝陽偏旺		肝腎陰の不足により、肝陽が制御不能となり、上昇する病的変化。
1.7.180		liver yang transforming into fire	肝陽化火		肝陽上亢が進展し火が生じる。
1.7.181		liver yang transforming into wind	肝陽化風		肝陽の活動過剰が内風の混乱を招く。
1.7.182		liver fire	肝火		過盛な肝気の病的変化で熱証を伴う。
1.7.183		liver fire flaming upward	肝火上炎		過盛な肝火を特徴とする病的変化。肝火は頭部および眼へと上昇する。

1.7.184		liver fire invading the lung	肝火犯肺		過盛な肝火を特徴とする病的変化。肝火は逆方向の上方へと広がり、肺に侵入する。
1.7.185	肝風；肝風内動；風氣内動	liver wind	肝風		身体の陽気が内風に変化する異常な動き。肝陽の風への変化、極度の熱による風の発生、動風を伴う陰虚、および血虚による風の発生を指す一般用語。internal stirring of liver windとも呼ばれる。
1.7.185	肝風；肝風内動；風氣内動	liver wind	肝風内動		身体の陽気が内風に変化する異常な動き。肝陽の風への変化、極度の熱による風の発生、動風を伴う陰虚、および血虚による風の発生を指す一般用語。internal stirring of liver windとも呼ばれる。
1.7.185	肝風；肝風内動；風氣内動	liver wind	風氣内動		身体の陽気が内風に変化する異常な動き。肝陽の風への変化、極度の熱による風の発生、動風を伴う陰虚、および血虚による風の発生を指す一般用語。internal stirring of liver windとも呼ばれる。
1.7.186		extreme heat engendering	熱極生風		過盛な熱邪が肝経を焼き、腱から栄養を奪う際に生じる痙攣を特徴とする病的変化。
1.7.187		liver cold	肝寒		(1) 肝陽虚に起因する寒を特徴とする病的状態で、鬱状態、臆病、倦怠感、手足の冷え、沈細脈を伴う肝気の停滞を生じる、(2) cold stagnating in the liver vesselと同義
1.7.188		cold stagnating in the liver vessel	寒滞肝脈		肝経における寒邪の停滞を特徴とする病的変化。
1.7.189		liver heat	肝熱		肝火や肝陽上亢など、肝臓のさまざまな証を指す一般用語。
1.7.190		liver excess heat	肝實熱		肝臓における過盛な火熱の存在を特徴とする病的状態。
1.7.191		dampness-heat in the liver meridian	肝經濕熱		肝臓における湿熱の蓄積および肝経に沿った下注に起因する病的変化。
1.7.192		liver-gallbladder dampness-heat	肝膽濕熱		肝臓および胆嚢における湿熱の蓄積。胆汁流および湿熱下注の障害を生じる。
1.7.193		excess heat in the liver meridian	肝經實熱		肝経における過盛な火熱の蓄積。
1.7.194		dual excess of the liver-	肝膽俱實		肝臓および胆嚢における過剰な病邪(気の停滞、湿障害、熱の蓄積、血または結石の停滞など)の蓄積。
1.7.195		liver-gallbladder qi depression	肝膽氣鬱		肝臓および胆嚢における気の停滞で、疏泄および胆汁排出機能の障害を伴う。liver-gallbladder qi stagnationと同義。
1.7.196	肝氣鬱結；肝鬱	liver qi depression	肝氣鬱結		疏泄障害に起因する、肝臓における気の停滞。liver depressionとも呼ばれる。
1.7.196	肝氣鬱結；肝鬱	liver qi depression	肝鬱		疏泄障害に起因する、肝臓における気の停滞。liver depressionとも呼ばれる。
1.7.197		liver depression and spleen deficiency	肝鬱脾虚		肝氣鬱結により脾臓の運化機能が害される病的変化。liver stagnation and spleen deficiencyと同義。
1.7.198		liver-kidney depletion	肝腎虧損		肝臓と腎臓における精および血の不足により、関連する体成分や内臓を滋養できない病的変化。ただし虚火は生じない。
1.7.199		liver-kidney yin deficiency	肝腎陰虚		肝臓と腎臓における陰津の不足により、関連する体成分や内臓を滋養できない病的変化。虚火証を生じる。
1.7.200		gallbladder heat	膽熱		熱邪による胆嚢および胆経の攻撃に起因する病的状態。
1.7.201		gallbladder excess heat	膽實熱		胆嚢および胆経における実熱を特徴とする病的変化。
1.7.202	膽氣不足；膽虚氣怯	insufficiency of gallbladder qi	膽氣不足		胆気の不足に起因する病的変化。不安および驚きやすさを生じる。
1.7.202	膽氣不足；膽虚氣怯	insufficiency of gallbladder qi	膽虚氣怯		胆気の不足に起因する病的変化。不安および驚きやすさを生じる。
1.7.203		spleen cold	脾寒		脾臓のさまざまな寒状態を指す一般用語。
1.7.204		spleen heat	脾熱		脾臓のさまざまな熱状態を指す一般用語。
1.7.205		spleen deficiency	脾虚		脾臓の虚状態(脾氣虚、脾陽虚、脾陰虚など)を指す一般用語。
1.7.206		spleen qi deficiency	脾氣虚		脾臓の運化機能障害を伴う氣虚を特徴とする病的変化。
1.7.207		spleen yin deficiency	脾陰虚		脾臓における陰虚に起因する病的変化で、身体への精配分不良を伴う。
1.7.208	脾陽虚；脾虚寒	spleen yang deficiency	脾陽虚		脾臓における陽虚を特徴とする病的変化で、虚寒を生じる。
1.7.208	脾陽虚；脾虚寒	spleen yang deficiency	脾虚寒		脾臓における陽虚を特徴とする病的変化で、虚寒を生じる。
1.7.209	脾實；脾氣實	spleen excess	脾實		脾臓における過剰な邪気の蓄積に起因する病的状態。spleen qi excessと同義
1.7.209	脾實；脾氣實	spleen excess	脾氣實		脾臓における過剰な邪気の蓄積に起因する病的状態。spleen qi excessと同義
1.7.210		spleen excess	脾實熱		脾臓における過盛な熱邪を特徴とする病的状態。
1.7.211		spleen failing to control the blood	脾不統血		脾臓による血管内での血流維持不能を特徴とする病的変化。出血を生じる。spleen failing to keep the blood within the vesselと同義。
1.7.212		dampness damaging spleen yang	濕傷脾陽		寒湿の停滞を特徴とする病的変化で、脾陽を害する。
1.7.213		dampness damaging spleen yin	濕傷脾陰		低下した湿が火に変化する病的変化で、脾陰を害する。
1.7.214		cold-dampness encumbering the spleen	寒濕困脾		過剰な寒湿が脾陽を害する病的変化。cold-dampness accumulating in the spleenと同義。

1.7.215		spleen deficiency with dampness encumbrance	脾虚湿困		虚と実の複雑な状態で、脾虚が湿濁の蓄積に至る。spleen deficiency with dampness accumulationと同義。
1.7.216		spleen deficiency engendering	脾虚生風		脾虚に起因する風の内動を特徴とする病的変化。
1.7.217		spleen-stomach dampness-heat	脾胃湿熱		湿熱の蓄積に起因する病的状態で、脾臓および胃の機能を害する。dampness-heat in the middle energizerと同義。
1.7.218		spleen-stomach deficiency cold	脾胃虚寒		脾臓および胃における陽気の低下を特徴とする病的変化で、機能低下と内虚寒を伴う。
1.7.219		dual deficiency of the spleen-stomach	脾胃俱虚		脾臓および胃双方の虚状態。胃の空虚感、息切れ、手足厥冷、および絶え間ない水様便を特徴とする。
1.7.220		spleen-stomach weakness	脾胃虚弱		脾臓および胃の食物摂取・消化機能低下を特徴とする病的変化。
1.7.221		dual excess of the spleen-	脾胃俱實		脾臓および胃双方における過剰な邪気の内容を特徴とする病的変化。
1.7.222		spleen-stomach yin deficiency	脾胃陰虚		脾臓および胃の陰津不足により食物摂取・消化が害される病的変化。
1.7.223		spleen-kidney yang deficiency	脾腎陽虚		脾臓および腎臓の陽気不足を特徴とする病的変化で、内寒および水の横溢を伴う。
1.7.224		spleen failing in transportation	脾失健運		脾臓の、水穀の精微の運化機能障害。
1.7.225		constrained spleen qi	脾氣不舒		脾臓の機能障害を特徴とする病的変化で、消化・吸収障害を伴う。
1.7.226		spleen qi failing to bear upward	脾氣不升		脾臓の栄養昇発機能障害。spleen qi failing to ascendと同義。
1.7.227		sunken spleen qi	脾氣下陷		脾臓の衰弱による脾氣の低下を特徴とする病的変化で、昇発機能の低下を伴う。
1.7.228		insufficiency of middle qi	中氣不足		中焦における気虚で、脾臓と胃の機能低下を特徴とする。
1.7.229		devitalized middle yang	中陽不振		中焦における陽気の衰弱で、脾臓および胃の消化・吸収機能低下を特徴とする。
1.7.230		excessiveness in the stomach-intestines	胃家實		陽明経の深部における病邪の存在を特徴とする病的変化で、胃腸管で過盛な燥熱を生じる。
1.7.231		stomach excess	胃實		体液の消耗および胃気の停滞に起因する病的状態。胃における過剰な熱の蓄積によって生じる。
1.7.232		stomach deficiency	胃虚		胃の虚状態(胃気虚、胃陰虚、胃陽虚など)を指す一般用語。
1.7.233		stomach qi deficiency	胃氣虚		胃気の衰弱を特徴とする病的変化で、食欲および消化機能の低下を伴う。
1.7.234		stomach yin deficiency	胃陰虚		胃における津虚を特徴とする病的変化で、過度の胃火または温病での過盛な熱に起因する機能障害を伴う。
1.7.235		stomach yang deficiency	胃陽虚		陽気の低下を特徴とする病的変化で、著しい食欲および消化機能の低下を伴う胃の虚寒に至る。
1.7.236		stomach cold	胃寒		胃陽虚(胃の虚寒)または寒邪による直接的な攻撃(胃の実寒)に起因する病的変化。
1.7.237		stomach heat	胃熱		熱邪または辛辣食品の過剰摂取による胃の機能障害に起因する病的変化。
1.7.238		stomach heat with swift	胃熱消穀		胃熱または胃火が異常に急速な消化を引き起こす病的変化。
1.7.239		stomach fire bearing upward	胃火上升		過盛な胃火が経絡に沿って炎上する病的変化。歯痛、歯肉の腫脹または出血、あるいは吐血を生じる。
1.7.240		intense stomach fire	胃火熾盛		胃における過剰な邪熱の存在で、胃火の上方への炎上を伴う。
1.7.241		stomach qi failing to bear	胃氣不降		胃気の降下不良。食欲不振、悪心、嘔吐、おくび、上腹部膨満感を生じる。stomach qi failing to descendと同義。
1.7.242		stomach qi ascending counterflow	胃氣上逆		胃気の上方向への逆流を特徴とする病的変化。おくび、しゃっくり、胃酸逆流および嘔吐を生じる。
1.7.243		stomach disharmony	胃不和		胃のさまざまな機能障害(食物の受け入れ・消化機能、および腸内容物の誘導機能の障害)を指す一般用語。
1.7.244	肺脾兩虚: 脾肺兩虚: 肺脾氣虚	dual deficiency of the lung-spleen	肺脾兩虚		肺および脾臓双方の気虚。脾臓の運化不能および肺の宣発・肅降不能を特徴とする。lung-spleen qi deficiencyと同義。
1.7.244	肺脾兩虚: 脾肺兩虚: 肺脾氣虚	dual deficiency of the lung-spleen	脾肺兩虚		肺および脾臓双方の気虚。脾臓の運化不能および肺の宣発・肅降不能を特徴とする。lung-spleen qi deficiencyと同義。
1.7.244	肺脾兩虚: 脾肺兩虚: 肺脾氣虚	dual deficiency of the lung-spleen	肺脾氣虚		肺および脾臓双方の気虚。脾臓の運化不能および肺の宣発・肅降不能を特徴とする。lung-spleen qi deficiencyと同義。
1.7.245		damage to the lung vessels	肺絡損傷		重度または持続的な咳、あるいは熱邪によって引き起こされる吐血を特徴とする病的変化。
1.7.246		lung-kidney yin deficiency	肺腎陰虚		肺および腎臓の陰津虚を特徴とする病的変化で、内熱を引き起こす。
1.7.247		lung-kidney qi deficiency	肺腎氣虚		肺および腎臓双方の気虚を特徴とする病的変化で、肅降および気吸収機能の障害を伴う。

1.7.248		lung failing to distribute fluid	肺津不布		肺による津の配分不能。痰が生成され、咳および呼吸困難を生じる。
1.7.249		impaired lung denuration	肺失清肅		肺の病的変化で、咳、呼吸困難、喀痰、胸部充満感を生じる。
1.7.250		phlegm turbidity obstructing the lung	痰濁阻肺		痰湿による障害に起因する肺気の宣発・肅降障害を特徴とする病的変化。
1.7.251		wind-cold fettering the lung	風寒束肺		風寒の攻撃を特徴とする病的変化で、肺気の正常な流れを害する。
1.7.252		lung qi failing to diffuse	肺氣不宣		肺気の宣発障害で、通常、外的病邪による肺への侵入あるいは外側の傷害に起因し、咳、嘔声、および鼻閉を生じる。lung qi failing to disperseと同義
1.7.253		inhibited lung qi	肺氣不利		肺気の肅降および肺の水道通調機能のあらゆる障害。
1.7.254		lung qi ascending counterflow	肺氣上逆		肅降に代わる、肺気の上方向への逆流を特徴とする病的変化。
1.7.255		lung deficiency	肺虚		肺の虚状態(肺氣虚、肺陰虚など)を指す一般用語。
1.7.256		lung yin	肺陰虚		肺陰の不足を特徴とする病的変化で、内熱を伴う。
1.7.257		lung qi	肺氣虚		氣虚を特徴とする病的変化で、肺機能の低下を伴う。
1.7.258		lung cold	肺寒		肺への外寒侵入あるいは肺気の虚寒のいずれかを指す用語。
1.7.259	肺實：肺氣實	lung excess	肺實		肺のあらゆる実状態で、外部からの風邪、寒邪、燥邪および熱邪による肺の攻撃、あるいは痰熱、痰湿などによる肺の閉塞に起因す
1.7.259	肺實：肺氣實	lung excess	肺氣實		肺のあらゆる実状態で、外部からの風邪、寒邪、燥邪および熱邪による肺の攻撃、あるいは痰熱、痰湿などによる肺の閉塞に起因す
1.7.260		lung fire	肺火		肺における激しい熱の存在を特徴とする病的変化。実または虚いづれかのタイプ
1.7.261		lung heat	肺熱		肺の熱状態を指す一般用語。
1.7.262		excess heat in the lung	肺實熱		肺における過剰な熱邪の存在を特徴とする病的変化。
1.7.263		dryness qi damaging the	燥氣傷肺		燥邪による肺津の損傷を特徴とする病的変化で、宣発・肅降機能を害する。
1.7.264		fire heat distressing the lung	火熱迫肺		肺における火熱邪の蓄積あるいは激しい火熱による肺陰の焼け焦げを特徴とする病的変化。
1.7.265		broken metal failing to sound	金破不鳴		肺氣虚による嘔声を比喩的に指す表現。
1.7.266		excess metal failing to sound	金實不鳴		過度の肺気による嘔声または失声を比喩的に指す表現。
1.7.267		large intestinal cold bind	大腸寒結		大腸における寒の保持を特徴とする病的変化で、便秘を伴う。large intestinal cold accumulationと同義。
1.7.268		large intestinal dampness-heat	大腸濕熱		大腸における濕熱の蓄積を特徴とする病的変化で、氣機を阻害し、腸血管を損傷し、異常な排便を生じる。
1.7.269		insufficiency of the large intestinal humor	大腸液虧		大腸における津の不足に起因する病的変化。
1.7.270		large intestinal deficiency cold	大腸虚寒		大腸における陽気の衰弱が内寒に至る病的変化で、異常な排便を生じる。
1.7.271		large intestinal excess heat	大腸實熱		過盛な熱邪による腑気の阻害を特徴とする病的変化。
1.7.272		heat distressing the large intestine	熱迫大腸		熱邪が大腸の機能を害する病的変化。異常な疼痛を伴う急性下痢、肛門の灼熱感、少量の暗色尿、および乾いた舌の黄苔を生じ
1.7.273		large intestinal heat bind	大腸熱結		大腸における過盛な熱を特徴とする病的変化で、燥と便秘を生じる。large intestinal heat accumulationと同義。
1.7.274		large intestinal deficiency	大腸虚		大腸の氣虚で、異常な排便を伴う。
1.7.275		large intestinal excess	大腸實		大腸における病邪の過剰。
1.7.276		large intestinal heat	大腸熱		大腸における熱邪の過剰。
1.7.277		kidney deficiency	腎虚		腎臓の虚状態(腎陰虚、腎陽虚、腎精不足、不安定な腎気など)を指す一般用語。
1.7.278		insufficiency of kidney essence	腎精不足		腎精の不足および腎機能障害を伴う腎臓の病的変化。
1.7.279		kidney deficiency with	腎虚水泛		腎陽虚を特徴とする病的変化で、水分代謝障害およびその結果生じる津の保持を伴う。
1.7.280		hyperactive kidney fire	腎火偏亢		腎陰の不足に起因する、腎火の相対的過剰。
1.7.281		insecurity of kidney qi	腎氣不固		腎臓の精貯蔵および収斂機能低下を特徴とする病的変化。
1.7.282		kidney failing to receive qi	腎不納氣		腎氣虚による肺氣受け入れの阻害。
1.7.283		kidney yin deficiency	腎陰虚		陰虚による腎臓の滋養不能を特徴とする病的変化で、虚火または虚熱に至る。
1.7.284	腎陽虚：腎陽虚衰	kidney yang deficiency	腎陽虚		腎陽虚を特徴とする病的変化で、加温機能の低下および氣化不能を伴う。
1.7.284	腎陽虚：腎陽虚衰	kidney yang deficiency	腎陽虚衰		腎陽虚を特徴とする病的変化で、加温機能の低下および氣化不能を伴う。

1.7.285		debilitation of the life gate fire	命門火衰		腎陽虚による生殖機能障害を特徴とする病的変化。
1.7.286		kidney qi deficiency	腎氣虚		腎気の低下を特徴とする病的変化で、精貯蔵および収斂機能の低下を伴う。
1.7.287		collapse of essence	精脱		腎精の低下および喪失を特徴とする病的変化で、難聴に至る。
1.7.288		kidney heat	腎熱		腎陰の低下を特徴とする病的変化で、内熱を伴う。
1.7.289	腎氣實；腎氣盛	kidney qi excess	腎氣實		腎臓の精気の充実。
1.7.289	腎氣實；腎氣盛	kidney qi excess	腎氣盛		腎臓の精気の充実。
1.7.290		kidney excess	腎實		腎臓における過剰な邪気。
1.7.291		heat scorching kidney yin	熱灼腎陰		熱邪による腎陰の損傷。通常、温熱病の進行した段階で生じる。heat damaging kidney yinと同義。
1.7.292		inhibited bladder	膀胱不利		膀胱の排尿機能における病的変化。
1.7.293		bladder qi block	膀胱氣閉		膀胱の気化障害で、排尿の阻害および排尿困難あるいは無尿症
1.7.294		bladder dampness-heat	膀胱濕熱		膀胱における湿熱の蓄積。
1.7.295		bladder deficiency cold	膀胱虚寒		膀胱の活動障害で、腎陽の消耗による寒証を伴う。
1.7.296		bladder retention failure	膀胱失約		膀胱機能障害で、尿失禁を生じる。
1.7.297		cold entering the blood chamber	寒入血室		子宮への寒邪の侵入。肝経を硬直させ、血流を阻害する。
1.7.298		heat entering the blood chamber	熱入血室		月経中あるいは産後の虚に乗じて熱邪が子宮に侵入し、血と争う。
1.7.299		hidden heat in the thoroughfare and conception vessels	熱伏衝任		熱邪が衝脈および任脈に留まる病的状態。
1.7.300		disharmony of the thoroughfare and conception vessels	衝任不調		衝脈および任脈における気および血の流れの阻害で、衝脈および任脈の機能障害を生じる。
1.7.301		insecurity of the thoroughfare and conception vessels	衝任不固		衝脈および任脈による月経制御ならびに子宮出血と流産の防止機能の喪失。
1.7.302		damage to the thoroughfare and conception vessels	衝任損傷		房勞、頻繁な妊娠、あるいは外的な病邪による衝脈および任脈の損傷が生じた場合に発生する病的変化。
1.7.303		dysfunction of meridians	經隧失職		経絡における気および血の流れの低下を特徴とする病的変化。
1.7.304		derangement of meridian qi	經氣逆亂		経絡の病的変化で、経絡の気の逆流により血流の乱れが生じる。
1.7.305		wind striking the blood vessels	風中血脈		風邪が衰弱した血管を襲うことで生じる口眼喎斜、片麻痺、あるいは四肢の無感覚。wind attacking the blood vesselsと同義。
1.7.306		wind-fire whirling	風火内旋		極度の熱が風邪を生じさせる病的変化。
1.7.307		wind-cold fettering the	風寒束表		外的な風寒による体表面の攻撃に起因する病的変化。
1.7.308		mutual contention of wind and	風濕相搏		筋肉痛、関節痛を生じる病的変化で、風湿邪に罹ることで起こる。wind and dampness attackと同義。
1.7.309	中風；卒中(風)；中風病	wind stroke	中風		風邪に罹ることで突然発現する片麻痺、口眼喎斜および発語障害。
1.7.309	中風；卒中(風)；中風病	wind stroke	卒中		風邪に罹ることで突然発現する片麻痺、口眼喎斜および発語障害。
1.7.309	中風；卒中(風)；中風病	wind stroke	中風病		風邪に罹ることで突然発現する片麻痺、口眼喎斜および発語障害。
1.7.310		cold in the middle	中寒		(1) 陽気不足による中焦の寒虚、(2) 中焦にとどまる内寒によって引き起こされる陽気の損傷と気および血の停滞。
1.7.311		cold stroke	中寒		胃腸に対する寒邪の直接的な攻撃。
1.7.312		dampness stroke	中濕		(1) 外部、あるいは内部からの湿邪による攻撃に起因する病的変化、(2) 湿邪に罹ったことに関連する溢血の一種、dampness attack
1.7.313		dryness affecting the clear orifices	燥乾清竅		上半身の燥熱疾患を特徴とする病的変化で、感覚器の機能を害する。
1.7.314		dryness accumulation	燥結		胃腸管における津不足を特徴とする病的変化で、便秘を生じる。
1.7.315		heat damaging the sinews	熱傷筋脈		激しい熱邪で養陰が焼かれることを特徴とする病的変化。腱から養分が奪われるため、四肢の拘縮、弛緩、あるいは麻痺が生じる。
1.7.316		heat block	熱閉		内臓および経絡における熱邪の停滞。

1.7.317		trapped heat	熱遏		体内に保持された熱邪の放出不能。
1.7.318		heat accumulation	熱結		体内(膀胱、血、胃腸管など)における熱邪の集合と結合を特徴とする病的変化。
1.7.319		heat depression	熱鬱		持続的な鬱状態が熱に変化する際に生じる病的変化。heat stagnationと同義。
1.7.320		six depressions	六鬱		気、血、湿、火、痰、および食物の停滞の総称。six stagnationsと同義。
1.7.321		obstruction of defense yang	衛陽被遏		衛気の低下を特徴とする病的変化で、体表の加温、保護機能が不能となる。
1.7.322		nutrient-defense disharmony	營衛不和		表証の自然発汗の病的状態。衛分が発汗を制御するのに対し、営分は汗を生成するための津を供給する。
1.7.323		weak defense with strong	衛弱營強		自然発汗を特徴とする病的状態で、表証の発熱を伴わない。
1.7.324		strong defense with weak	衛強營弱		発汗の病的状態で、表証の発熱が見られる間のみ生じる。
1.7.325		qi aspect cold	氣分寒		気分における寒を特徴とする病的変化で、陰寒が優勢な脾胃陽虚あるいは気分への寒邪の侵入に起因する。
1.7.326		qi aspect heat	氣分熱		気分における熱を特徴とする病的変化で、大抵は過剰な状態にある。
1.7.327		disease of both defense and qi aspects	衛氣同病		衛分および気分双方における疾患の共存。
1.7.328		disease of both defense and nutrient aspects	衛營同病		衛分および営分双方における疾患の共存。
1.7.329		heat entering the blood aspect	熱入血分		血分への熱邪の侵入を特徴とする病的変化。出血、精神障害、さらには痙攣を生じる。
1.7.330		blood aspect heat toxin	血分熱毒		血分深部への熱毒の侵入を特徴とする病的変化。斑状皮疹を伴う壮熱、出血、さらには意識混濁を生じる。
1.7.331		blazing of both qi and blood	氣血兩燔		気分および血分双方における過盛な熱邪の存在を特徴とする病的変化。体液の障害および出血を生じる。
1.7.332		blazing of both qi and nutrient	氣營兩燔		気分および営分における過盛な熱邪の同時存在を特徴とする病的変化。
1.7.333		depressed nutrient-yin	營陰鬱滯		営陰気の動きの阻害を特徴とする病的変化。stagnated nutrient-yinと同義。
1.7.334		(transmission and)	傳變		疾患の発現(1つの経絡から別の経絡への伝播で、症状の変化を伴う)。
1.7.335		(transmission and)	傳化		疾患の発現(1つの経絡から別の経絡への伝播で、病的変化の推移を伴う)。
1.7.336		constitutionally influenced transformation	從化		患者の体質に從った証の発現プロセス(陽体質患者における熱証、陰体質患者における寒証など)。
1.7.337		transform into	化熱		疾患経過における熱証への変化。
1.7.338		heat formation	熱化		疾患経過における熱証の形成過程。
1.7.339		transform into	化火		疾患経過における火証への変化。
1.7.340		fire formation	火化		疾患経過における火証の形成過程。
1.7.341		transform into wind	化風		疾患経過における風証への変化。
1.7.342		wind formation	風化		疾患経過における風証の形成過程。
1.7.343		transform into dryness	化燥		疾患経過における燥証への変化。
1.7.344		dryness	燥化		疾患経過における燥証の形成過程。
1.7.345		transform into	化寒		疾患経過における寒証への変化。
1.7.346		cold formation	寒化		疾患経過における寒証の形成過程。
1.7.347		transform into dampness	化濕		疾患経過における湿証への変化。
1.7.348		dampness formation	濕化		疾患経過における湿証の形成過程。
1.7.349		lesser yin cold transformation	少陰寒化		過盛な陰寒を伴う心腎陽の衰弱を特徴とする病的変化。通常、発熱を伴わない悪寒、倦怠感および眠気、手足の冷え、消化不良性下痢、および弱い細脈が発現する。
1.7.350		lesser yin heat transformation	少陰熱化		過盛な陽熱を伴う心腎陰の低下を特徴とする病的変化。通常、発熱、心煩、不眠、口およびのどの渇き、紅舌、および速い細脈が発陽明への暑邪の侵入。体表、心臓、頭部の激しい暑さを生じ、発汗させる。壮熱、口渇、心煩、頭痛、めまい、および発汗が発現する。
1.7.351		summerheat entering yang brightness	暑入陽明		
1.7.352		normal transmission	順傳		通常の順序(衛分から気分へなど)での熱性疾患の伝播。sequential transmissionと同義。
1.7.353		reverse transmission	逆傳		通常の順序に反した(衛分から気分を介さず直接営分および血分へなど)熱性疾患の伝播。non-sequential transmissionと同義。
1.7.354		non-transmission	不傳		熱性疾患のさらなる発現がない。
1.7.355		ceasing to transmit	經盡		特定の経絡あるいは特定の段階に達した際の、外因性熱性疾患の進行停止と回復開始。
1.7.356		transmit to another meridian	再經		傷寒の経過。1つの経絡証が別の経絡へと移行し、元の経絡証が持続する。
1.7.357		skipping meridians	越經傳		1つの経絡から別の経絡への傷寒の伝播。1つ以上の経絡を飛び越えて伝播する(太陽から陽明を飛び越えて少陽へなど)。

1.7.358	sequential meridians transmission	循經傳		1つの経絡から別の経絡への傷寒の伝播。太陽、陽明、少陽、太陰、少陰、厥陰の順に伝播する。
1.7.359	direct strike/stroke	直中		陽経からの伝播ではなく、外因性病邪による三陽経への直接的な攻撃。direct attackと同義。
1.7.360	overlap of diseases	並病		2つの経絡疾患の重複。連続して発現し、共存する。
1.7.361	combination of diseases	合病		複数の経絡疾患の同時発現。
1.7.362	favorable pattern/syndrome	順證		良好な予後を示す証。
1.7.363	unfavorable pattern/syndrome	逆證		不良な予後を示す証。
1.8.0	Others	其他		
1.8.1	theory of five circuits and six five circuits	運氣學		気候変化の規則および疾患の発生との関連を、五運と六気の観点から研究する学問。
1.8.2	five circuits	五運		木運、火運、土運、金運、水運の総称。
1.8.3	six qi	六氣		6つの正常な気象現象:風、寒、暑、湿、燥、火(熱)。
1.8.4	circuit of year	歲運		特定の年の気象学的特徴と変化、および対応する疾患の流行をつかさどる運氣。
1.8.5	(qi) controlling heaven	司天		1年の上半期の気候変化をつかさどる客氣。
1.8.6	terrestrial effect	在泉		1年の下半期の気候変化をつかさどる客氣。
1.8.7	midnight	合陰		内臓で營氣と衛氣が交わる時。
1.8.8	sixty-year cycle	甲子		十干十二支の組み合わせで、年、月、日、時間の指定に使用する
1.8.9	stems and branches	干支		十干十二支の総称。いずれも連番として使用される。
1.8.10	dominant qi	主氣		気候の正常な季節的变化をつかさどる氣。
1.8.11	guest qi	客氣		特定の年における気候の季節的变化をつかさどる氣。
1.8.12	intermediate qi	間氣		客氣の一部。司天および在泉以外の氣。天と地の間に存在することから間氣と呼ばれる。
1.8.13	annual	歲會		年の運氣と支が五行に関して一致すること。60年周期の8年で起こる。
1.8.14	coincidence of heavenly qi	天符		年の運氣と司天が五行に関して一致すること。60年周期で起こる。
1.8.15	normal circuit qi	平氣		過剰でも不足でもない運氣。疾患を引き起こすことはほとんどない。
1.8.16	natural life span	天年		人の寿命。
1.8.17	three yin and three yang	三陰三陽		厥陰、少陰、太陰、少陽、陽明、太陽の総称。
1.8.18	opening, closing and pivot	開闔樞		三陰三陽の機能的特徴。開は外に向かう作用、閉は内に向かう作用、樞は中心的役割を指す。
1.8.19	greater yang	太陽		(1) 運氣学における寒氣、(2) 経絡学説における膀胱経および小腸
1.8.20	yang brightness	陽明		(1) 運氣学における燥氣、(2) 経絡学説における大腸経および胃
1.8.21	lesser yang	少陽		(1) 運氣学における火氣、(2) 経絡学説における三焦経および胆
1.8.22	greater yin	太陰		(1) 運氣学における湿氣、(2) 経絡学説における肺経および脾経。
1.8.23	lesser yin	少陰		(1) 運氣学における熱氣、(2) 経絡学説における心経および腎経。
1.8.24	reverting yin	厥陰		(1) 運氣学における風氣、(2) 経絡学説における心包経および肝
1.8.25	principals of life preservation	保命之主		各体質に関する、健康維持および寿命延長のための主要原則。
1.8.26	inhale-gathering	吸聚之氣		太陽人の健康を増進する氣。
1.8.27	yin-cool qi	陰清之氣		少陽人の健康を増進する氣。
1.8.28	exhale-dispersing qi	呼散之氣		太陰人の健康を増進する氣。
1.8.29	yang-warm qi	陽煖之氣		少陰人の健康を増進する氣。
1.8.30	water-food metabolism	水穀代謝		水穀が脾臓によって取り込まれ、腎臓によって排出される過程。
1.8.31	qi-humor metabolism	氣液代謝		氣および液が肝臓によって吸い込まれ、肺によって吐き出される過程。
1.8.32	ascending-descending-congested-uncongested	升降緩東		水穀の代謝および氣液の代謝をつかさどる気機。
1.8.33	healthy state	完實無病		疾患および症状のない健康な状態。四象医学特有の表現。
1.8.34	ordinary	素證		個々の体質に関連して発現する症状。
1.8.35	temperament	性情		個人の明白な性質および特徴。
1.8.36	skill and talent	性質材幹		特別な素質または能力、社会的関係を強化する熟達性または能
1.8.37	appearance and style of talking	容貌詞氣		体質を識別するための基準の1つ(例:少陰人のきちんとした容貌、自然な話し方、賢明な振る舞い)。
1.8.38	physical appearance	體形氣像		体質を識別するための基準の1つ(例:少陰人の座位での発達した臀部、自己抱擁時のひ弱い胸部)。
1.8.39	activity-mind-body-matter	事心身物		四象医学で万物を理解するための基本的要素。
2.0.0	DIAGNOSTICS	診斷學		
2.0.1	diagnosis	診斷		疾病状態の性質を判断し、その症状や病歴を注意深く検討することにより疾病を識別すること。また、このような検討から得られた(正式な)見解。

2.0.2		diagnostic	診法	疾病状態を判断するための基本的なデータ収集法。
2.0.3		symptom	症状	疾病やその他の病的状態に起因し、これに付随して起こり、適応症またはその根拠を構成する(身体または精神の)現象、環境、または状態の変化。特定の疾病の特徴的な徴候。とくに、現代では、患者が認識できる主観的な適応症に用い
2.0.4	體徴：徴候	sign	體徴	とくに医師の観察による、疾病の客観的な根拠または適応
2.0.4	體徴：徴候	sign	徴候	とくに医師の観察による、疾病の客観的な根拠または適応
2.0.5		disease	疾病	健康から逸脱した状態(重篤度は問わない)。疾患、病氣。
2.0.6		disease identification and treatment	辨病論治	疾病およびその治療のカテゴリーを識別すること。
2.0.7		pattern/syndrome	證	(1) 疾病のある段階における病的変化の診断の結論のことで、疾病の部位、原因、性質および発症傾向を含む、(2) 適切な治療を示唆する状態 (3) 個人に特異的な状態
2.0.8		pattern/syndrome type	證型	標準名で表される共通の證型。
2.0.9		case record	診籍	従来用いられる患者の病歴、診断、治療の記録。
2.0.10		assessment of the normal and abnormal	揆度奇恒	人に疾病または病的状態を示すような異常な特徴がどの程度まで現れているかを判断すること。
2.0.11		judging the inside from observation of	司外揣内	体外から観察される徴候に基づいて、体内の状態を判断すること。
2.0.12		correlation of all four	四診合參	四診(望診、聞診[音声を聞く、臭いを嗅ぐ]、問診、切診)で得たデータを総合的に検討して診断すること。
2.0.13		pattern identification/syndrome differentiation	辨證	患者の疾病の部位、原因、性質を判断するために、臨床データを全体的に分析する過程で、これにより証の診断が達成される。pattern differentiationとも呼ばれる。
2.0.14		four	四診	望診、聞診(音声を聞く、臭いを嗅ぐ)、問診、切診の総
2.0.15		eight principles	八綱	弁証論治を導く原理。すなわち、陰・陽、表・裏、寒・熱、虚・実の8種類。
2.1.0		Inspection	望診	
2.1.1		inspection	望診	四診の1つで、患者の精神状態、顔の表情や色、身体の状態、舌の状態、分泌物、小児の指紋(表層の静脈)分布の観察を含む。
2.1.2		inspection of the vitality	望神	状態および生命活動、とくに、意識、思考、顔の表情、発語、外的刺激に対する反応などの精神・身体活動の望診。
2.1.3		presence of vitality	得神	神が高く、精神・身体活動が盛んで、迅速で適切な反応を特徴とする全身状態であり、正気が損なわれることはなく、病的状態からの改善が期待できることを示す。
2.1.4		loss of vitality	失神	無関心で神が低く、精神・身体機能が損なわれ、緩慢で不適切な反応を特徴とする全身状態であり、重篤な病的状態が存在することを示す。
2.1.5		lack of vitality	少神	無関心、無気力、低い神を特徴とする全身状態。
2.1.6		false vitality	假神	危篤状態の患者に一過性の神の改善がみられることで、しばしば臨終の前兆を示す。
2.1.7		mental confusion	昏蒙	眠気を伴う意識混濁であるが、呼びかけには反応する。
2.1.8		fainting	昏厥	突然の意識消失。通常は短時間で回復し、四肢の冷えを伴うことがある。失神(syncope)とも呼ばれる。
2.1.9		delirium	譫妄	錯乱、発語障害、幻覚を特徴とする精神障害。
2.1.10		agitation	煩躁	心煩に続き、いらいらが生じ、怒りっぽく、落ち着きがなくなる。
2.1.11		inspection of the complexion	望色	患者の皮膚の色、とくに顔色の観察。
2.1.12		(facial)	面色	顔の色およびつや。
2.1.13		pale white complexion	面色淡白	血色のない顔のことで、しばしば血虚または大量出血を示す。
2.1.14		pale complexion	面色蒼白	青色または灰色を帯びた白色の顔。しばしば亡陽または盛んな寒により生じる。
2.1.15		bright pale complexion	面色晄白	白色のむくんだ顔で、しばしば陽虚の場合に生じる。
2.1.16		darkish complexion	面黑	暗黒色の顔で、しばしば腎虚、寒証、水停または血瘀の場合に生じる。
2.1.17		reddened complexion	面紅	正常より赤みを帯びている顔で、熱の存在を示す。
2.1.18		bluish complexion	面青	青白い顔で、しばしば寒証、疼痛、気滞、血瘀または抽搐の場合に生じる。
2.1.19		yellow complexion	面黄	黄色い顔で、一般に、脾虚または脾機能障害を引き起こす湿の蓄積を示唆する。
2.1.20		sallow complexion	面色萎黄	黄色みを帯び、干からびた顔で、通常は脾気虚の場合に生じる。
2.1.21		puffy face	面浮	柔らかく腫れぼったい顔で、通常は虚の状態を示す。
2.1.22		governing complexion	主色	正常で自然な皮膚の色。

2.1.23		visiting complexion	客色		気候の変動の影響を受ける正常な顔色。
2.1.24		morbid	病色		疾病による異常な顔色。
2.1.25		benign complexion	善色		明るくつやのある顔で、予後良好を示す。健康な顔色 (healthy complexion) と同義。
2.1.26		malign complexion	悪色		暗く陰うつな顔で、予後不良を示す。不健康な顔色 (unhealthy complexion) と同義。
2.1.27		true visceral	眞臓色		内臓の真気の消耗を示す、顔に表れた色。
2.1.28		pitting edema	卍腫		皮膚の圧痕浮腫のことで、消失は非常に緩やかである。通常、足の甲に生じる。
2.1.29		encrusted skin	肌膚甲錯		乾燥して魚鱗のようにカサカサした皮膚のことで、慢性の血癬を示す。
2.1.30	抽搐; 癇瘕	convulsions	抽搐		筋収縮による四肢の突然の激しい制御不能な動き。
2.1.30	抽搐; 癇瘕	convulsions	癇瘕		筋収縮による四肢の突然の激しい制御不能な動き。
2.1.31	便血; 圜血	bloody stool	便血		排便に伴う肛門からの出血。
2.1.31	便血; 圜血	bloody stool	圜血		排便に伴う肛門からの出血。
2.1.32		distal bleeding	遠血		肛門から遠い部位での出血で、一般に上部消化管出血 (bleeding from upper digestive tract) を指す。
2.1.33		proximal bleeding	近血		排便前または排便時に鮮血が流れることで、肛門または直腸からの出血を示す。
2.1.34		inspection of finger venules	望指紋		小児に用いる診法で、示指の掌側にある指紋の観察に基づく。
2.1.35		three bars	三關		皮膚表面に浮き出た静脈の伸展を測定するために用いる示指の3つの節、すなわち「風關」、「氣關」、「命關」の総称。three gatesとしても知られる。
2.1.36		wind bar	風關		望指紋における示指の近位節。wind gateとしても知られる。
2.1.37		qi bar	氣關		望指紋における示指の中間節。qi gateとしても知られる。
2.1.38		life bar	命關		望指紋における示指の遠位節。life gateとしても知られる。
2.1.39		tongue diagnosis	舌診		舌と舌苔の大きさ、形状、色、湿潤の望診。
2.1.40		inspection of the tongue	望舌		舌体および舌苔の検査。
2.1.41		tongue manifestation	舌象		舌体および舌苔の色や形状の変化に関連する舌の外観の変化のこと。
2.1.42		tip of the tongue	舌尖		舌の先端部。
2.1.43		margins of the tongue	舌邊		舌の両側部。
2.1.44	舌中; 舌心	center of the tongue	舌中		舌の中央部。
2.1.44	舌中; 舌心	center of the tongue	舌心		舌の中央部。
2.1.45	舌根; 舌本	root of the	舌根		骨に付着した舌の根元の部分。
2.1.45	舌根; 舌本	root of the	舌本		骨に付着した舌の根元の部分。
2.1.46	舌體; 舌質	tongue body	舌體		舌の筋肉・脈絡組織。tongue substanceとも言う。
2.1.46	舌體; 舌質	tongue body	舌質		舌の筋肉・脈絡組織。tongue substanceとも言う。
2.1.47		tongue color	舌色		舌体の色のことで、気、血、臓器の状態を反映する。
2.1.48		tongue spirit	舌神		舌象の全般的な生命活動のことで、潤沢 (榮) か干からびているか (枯) で反映される。
2.1.49		luxuriant, withered, tough and tender-soft	榮枯老嫩		榮の舌は湿潤で鮮紅色、枯の舌はつやがなく色が暗で、乾燥してしわがある。老の舌は硬くてきめが粗く、嫩の舌は柔らかくてきめが細かい。
2.1.50		pale tongue	淡白舌		正常より赤みの少ない舌で、気虚・血虚または虚寒の存在を示す。
2.1.51		pale red tongue	淡紅舌		正常な色の舌。
2.1.52		red tongue	紅舌		正常よりも赤みを帯びた舌で、熱の存在を示す。
2.1.53		blue tongue	青舌		青みを帯びた舌で、寒凝血瘀を示す。
2.1.54		purple tongue	紫舌		紫色の舌で、気および血の循環の停滞を示す。
2.1.55		bluish purple tongue	青紫舌		チアノーゼを起こしている舌で、血瘀または営血中の熱毒を示す。
2.1.56		crimson tongue	絳舌		深紅色の舌で、激しい熱を示す。
2.1.57		enlarged tongue	胖大舌		正常より大きく、淡白な色のきめ細かな舌で、通常は舌辺に歯痕がみられる。
2.1.58		swollen tongue	腫脹舌		大きく腫れぼったい舌。これが口腔を満たし、口があかなくなる。
2.1.59		thin tongue	瘦薄舌		正常より薄い舌。
2.1.60		spotted tongue	點刺舌		舌面に赤、白、黒の斑点および棘状の隆起が生じる舌。
2.1.61		prickly tongue	芒刺舌		舌面に棘状の隆起が生じる舌。
2.1.62		teeth-marked tongue	齒痕舌		舌辺に歯痕が残る舌。
2.1.63		fissured tongue	裂紋舌		舌面上に亀裂が生じる舌。
2.1.64		peeled tongue	光剝舌		正常な舌苔が失われ、剥れ落ちたような外観の舌。
2.1.65		mirror tongue	鏡面舌		舌苔がまったくなく、鏡のように完全にでかてかしている
2.1.66		geographical tongue	地圖舌		舌苔に不規則な剥落がみられ、剥落している部分と剥落していない部分の境界が明瞭で、地図のように見える舌。